

平成17年度
事業概要

水の恵み



三重県企業庁

Public Utilities Agency



ISO9001

品質方針

三重県企業庁の品質方針を以下のとおり定めます。

| | |
|------------------------------|-----------|
| 安全で安心な水道用水を安定して供給する | (水道事業) |
| 良質な工業用水を安定して供給する | (工業用水道事業) |
| 環境に優しい電気を安定して供給する | (電気事業) |
| 安全に安定して、RDFの焼却・発電を行い、電気を供給する | (電気附帯事業) |

私は、上に掲げた品質方針を遵守し、実行させるために、品質方針の展開及び目標管理、品質方針の徹底を、マニュアルに定めるとおり実施します。また、品質システムを構築し、これを品質マニュアルに定め、維持します。

2005年4月1日

三重県企業庁長 井藤 久志

目 次

| | |
|----------------|-----------|
| 企業庁って、どんなところ？ | 2 |
| 三重県企業庁の概要図 | 4 |
| 水道事業 | 5 |
| 工業用水道事業 | 9 |
| 電気事業 | 13 |

資料編

| | |
|------------------------|----|
| 1 三重県企業庁組織 | 18 |
| (1) 組織図 | 18 |
| (2) 職員配置表 | 20 |
| 2 予算等の概要 | 21 |
| (1) 平成16・17年度予算(当初)総括表 | 21 |
| 3 水道事業の概要 | 24 |
| (1) 事業概要 | 24 |
| (2) 水質 | 25 |
| (3) 営業実績等の概況 | 26 |
| 4 工業用水道事業の概要 | 32 |
| (1) 事業概要 | 32 |
| (2) 料金 | 33 |
| (3) 水質 | 33 |
| (4) 営業実績等の概況 | 34 |
| 5 電気事業の概要 | 40 |
| (1) 事業概要 | 40 |
| (2) 水力発電事業 | 40 |
| (3) 営業実績等の概況 | 42 |
| (4) R D F 燃却・発電事業 | 44 |
| 6 企業庁の歩み | 47 |

企業庁って、どんなところ？

1. 三重県企業庁では、こんなことをしています。

はじめまして？

いいえ、特に三重県のみなさんには、もうどこかでお会いしているかもしれません。

それは、私たち企業庁が市町村や電力会社を通じて、みなさんのもとへ水道水や電気を供給させていただいているからなのです。

また、工場など県内企業のみなさんに産業の血液とも呼ばれる工業用水を供給しています。

2. 三重県企業庁は、三重県が経営する企業（地方公営企業）です。

地方公営企業とは、都道府県などの地方公共団体が、直接地域住民の福祉の増進を目的として経営する企業のことをいい、能率性・経済性を發揮した公的サービスを行う役割を担っています。

三重県企業庁は、このような地方公営企業として三重県が経営しています。

3. 一般の行政機関との違いは？

地方公営企業は、地域住民の福祉の増進を目的とした事業を行っている点では、一般の地方行政機関と変わりありませんが、経費の負担の点では違いがあります。原則として地方公営企業の事業に必要となる経費は、料金収入など経営にともなう収入により充てることと法律で定められています（地方財政法）。

すなわち、事業の経費が税金ではなく、水道料金などの受益者からの料金収入によって賄われている点に違いがあるのです。

4. 具体的には、どんな仕事をしているの？

地方公営企業は、水道事業、工業用水道事業、軌道事業、自動車運送事業、鉄道事業、電気事業、ガス事業、病院事業等、地域住民の福祉の増進を目的とした様々な事業を行っています（地方公営企業法、地方財政法で定められています）。

三重県企業庁では、現在、水道事業（水道用水供給事業）、工業用水道事業及び電気事業の3事業を行っています。

5. 水道用水供給事業とは？

水道用水供給事業は、生活に欠かせない安全で安心して飲める水道水を、安定的に市町村に供給するものです（市町村では、企業庁からの水と自己水源からの水をあわせるなどして、みなさんのご家庭に水道水を給水しています。）。

6. 工業用水道事業とは？

工場などの企業は、市民生活に欠かすことのできない製品などを生産すると同時に、雇用の場を提供しており、地域社会・地域経済にとって大切なものとなっています。

そして、この工業などで使われる、ボイラーユ水、製品処理用水、洗浄用水、冷却用水、温調用水などの水を総称して「工業用水」と呼びます。工業用水道事業は、この工業用水を企業などに供給する事業をいいます。

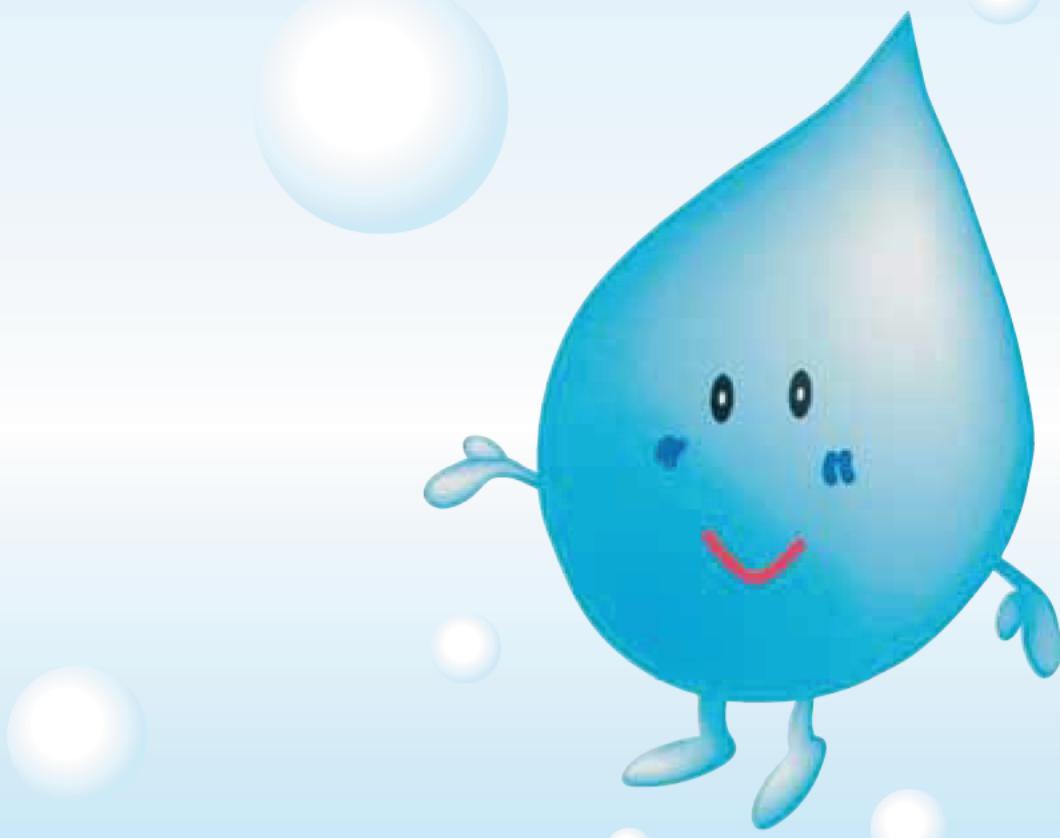
7. 電気事業とは？

三重県企業庁は、水力発電などを行い電力会社を通じて、皆さんの家庭に電気を供給しています。

我が国では、発電の約6割を石油、天然ガス、石炭などの化石燃料に頼っており、これに代わるクリーンエネルギーの確保が必要です。

水力発電は、化石燃料に代わるエネルギーを確保する役割とCO₂の排出を抑制する地球温暖化防止の役割を担っています。

また、環境先進県をめざし資源循環型社会を構築するため、安全性の確保を前提として市町村などで製造されるRDF（ごみ固化化燃料）の適正処理を図りながら、燃焼エネルギーによって発電を行うRDF焼却・発電事業を行なっています。



三重県企業庁の概要図



くらしのみなもと水道用水

水道事業

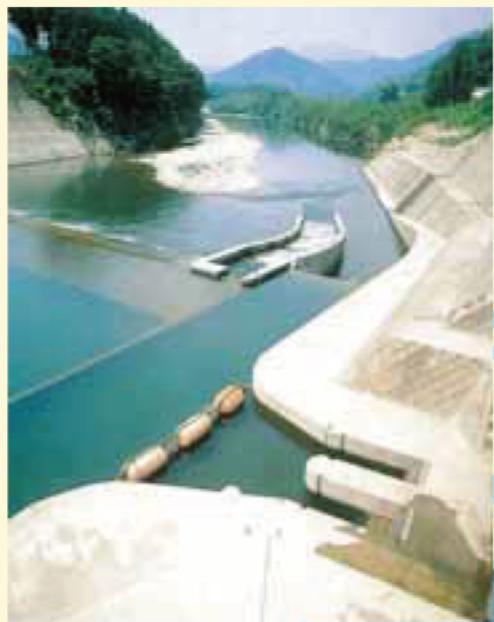
～市町村の水源をささえる～



播磨浄水場（桑名市）

沈殿池に太陽光パネルを備えた遮光設備を設置し、藻類発生防止による水質改善を図りながら太陽光発電を行うことで、環境負荷の低減に貢献しています。

同様の太陽光パネルが、磯部浄水場（志摩市）、高野浄水場（一志町）に設置されています。



津留取水所（多気町）

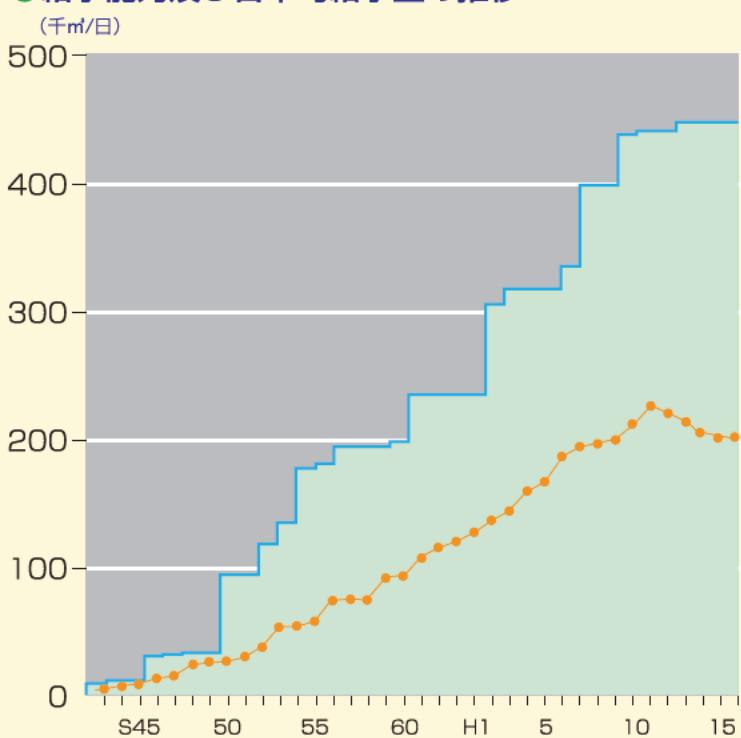


沈砂池（多気町）



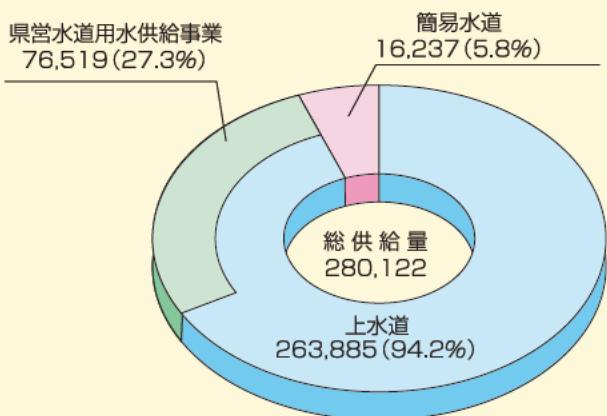
多気浄水場（多気町）

●給水能力及び日平均給水量の推移



●水道種別毎の年間給水量

(三重県全体) (H15年度)
単位:千m³

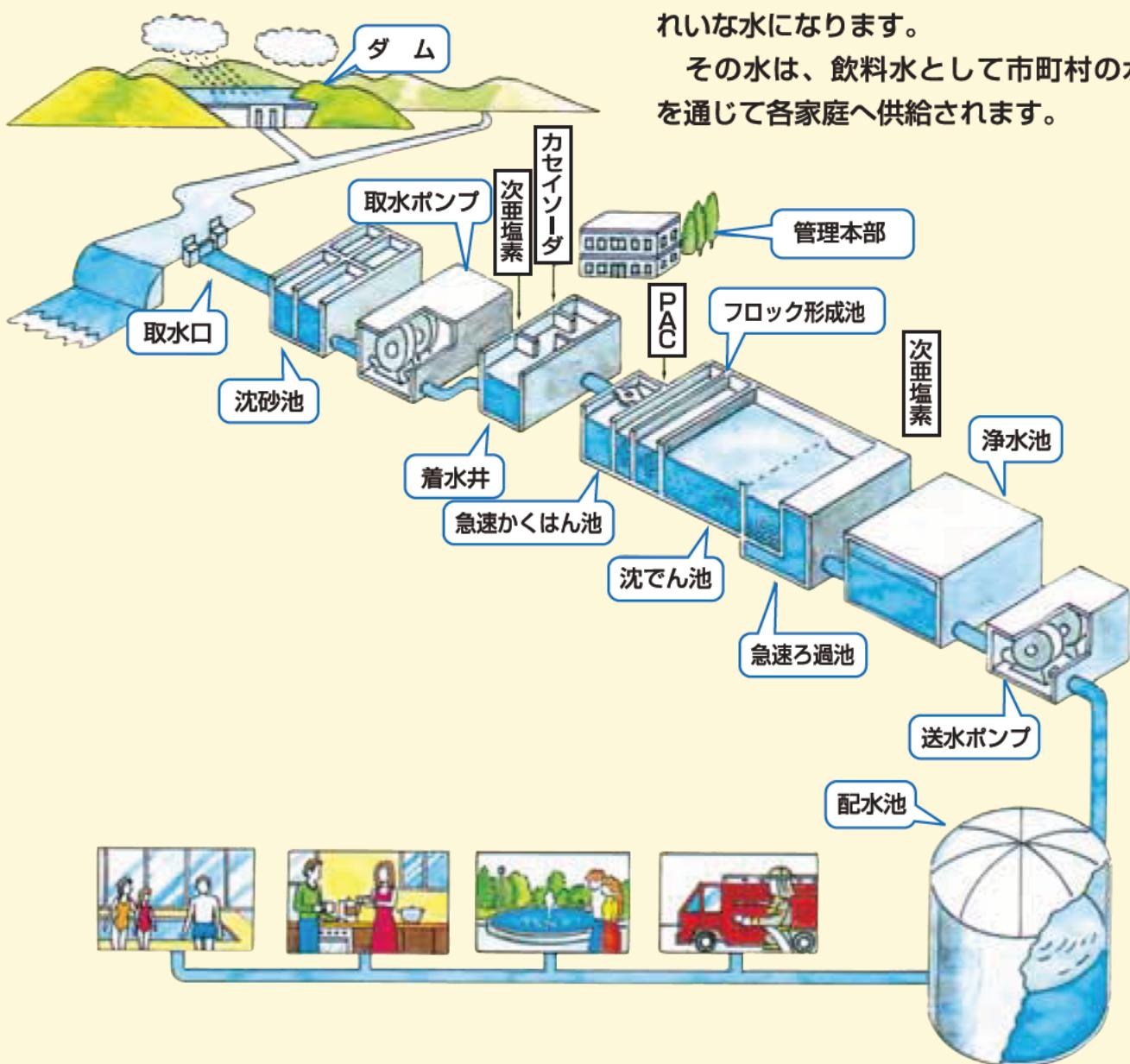


※水道用水供給事業は上水道、簡易水道に
水道用水を供給しているため供給水量の内数

水道水のしくみ

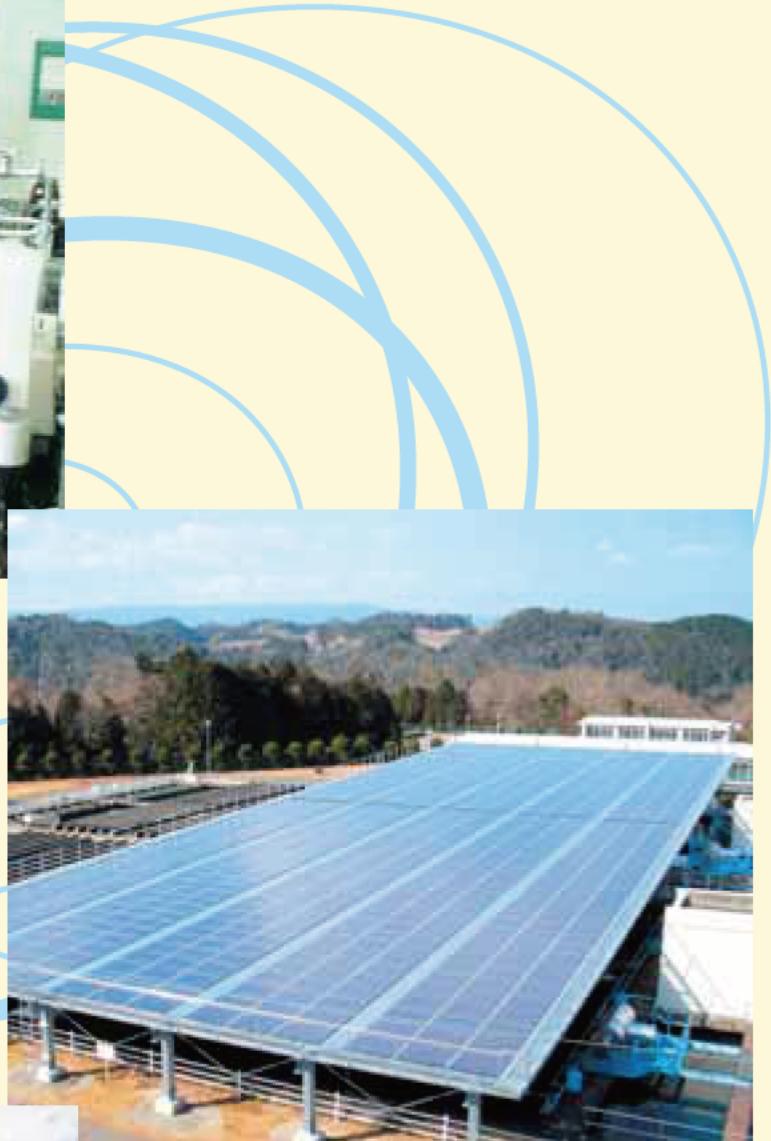
水道水の原水は河川などから取水され、浄水場でろ過、滅菌などの処理をし、きれいな水になります。

その水は、飲料水として市町村の水道を通じて各家庭へ供給されます。



宮川水管橋（玉城町、伊勢市）

大里浄水場（津市）



高野浄水場（一志町）



多気調整池（多気町）

産業の血液 工業用水

工業用水道事業

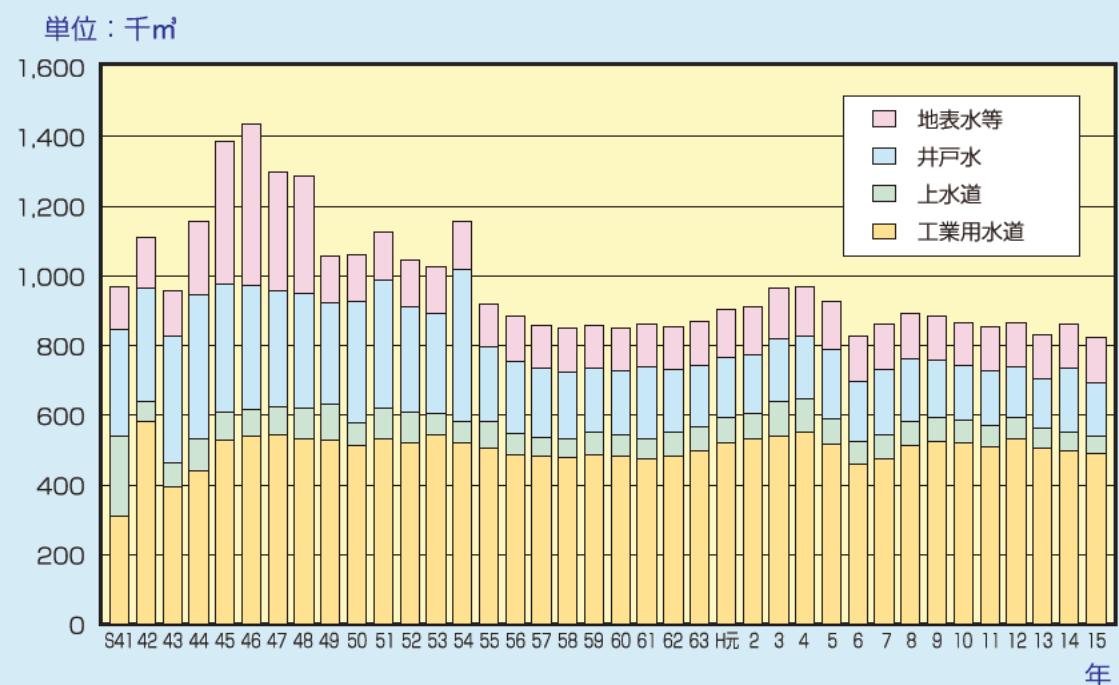
～経済の発展と地盤沈下防止に貢献する～



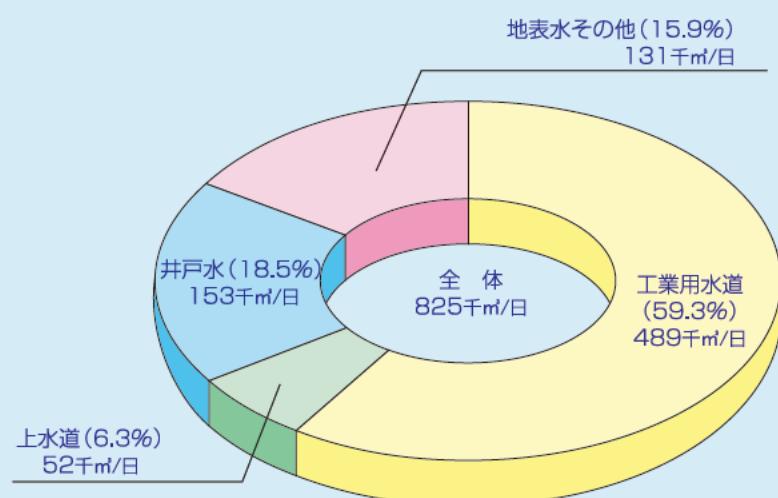
揖斐川・長良川水管橋（桑名市）

木曽川大堰（愛知県）で取水した水は、弥富揚水機場を経由し、この水管橋を通じて山村浄水場（四日市市）へ送水されたのち、北勢地域の各企業へ給水されています。

●工業用水（淡水補給水量）使用量の推移（三重県全体）



●水源別工業用水（淡水補給水量）(H15県統計資料)



安永取水所（桑名市）

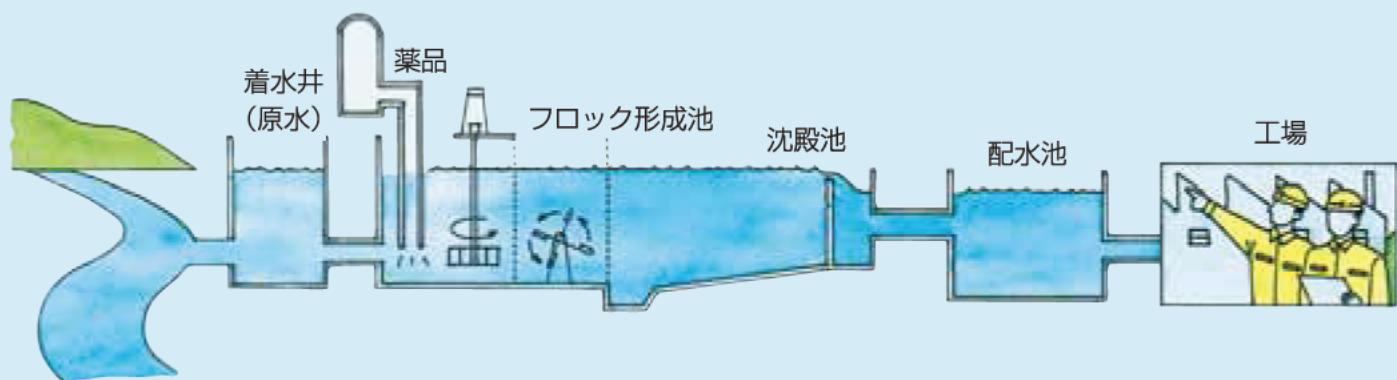


新屋敷取水所（松阪市）

工業用水道のしくみ

工業用水は、ボイラー用水や、製品の洗浄用水、機械の冷却水として、また製品の原料等として工場には欠かすことのできない大切なものです。

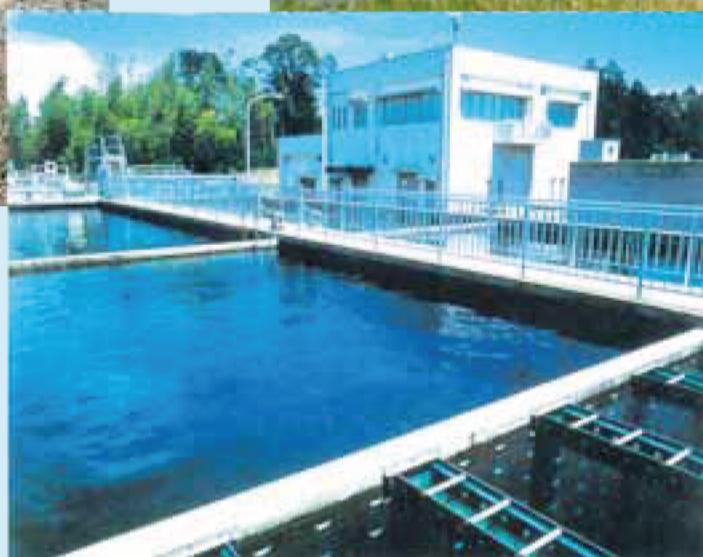
この工業用水は、河川などから取水した原水を浄水場で処理し、良質な水として各工場に給水されます。



伊坂ダム（四日市市）



新屋敷取水堰（松阪市）



多度浄水場（桑名市）

北勢水道事務所
中央監視制御室（四日市市）



工場で使用されている工業用水



揖斐川水管橋（桑名市）

電気事業

～地球にやさしいエネルギー～



宮川第二発電所（紀伊長島町）

水圧鉄管（右上）上水槽に貯えた水を、この水圧鉄管を通じて水車に導き、発電を行っています。

水力発電のしくみ

水の流れをダムなどで集め、そこから流れ落ちる水の勢いを利用して発電する方式です。

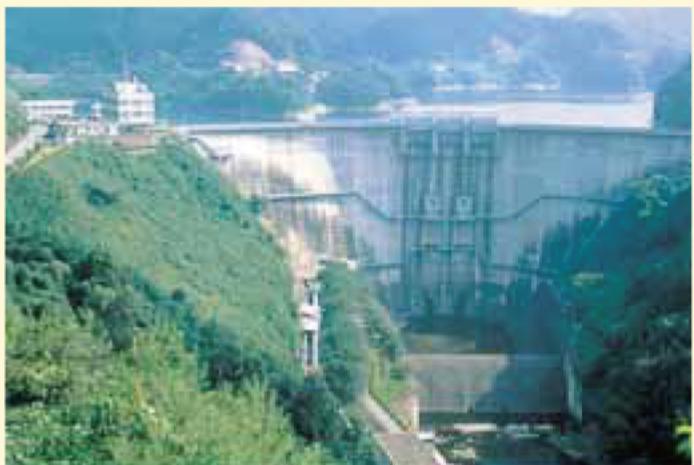
また、石油など他の限りある資源を利用する発電方式に比べ、クリーンで無尽蔵の循環エネルギーを利用する効率の良い発電方法です。

●水路のいろいろ



ダム式

川幅が狭く両岸の岩が高く切りたったような所にダムを築き水をせき止めて人工湖を造り、その落差を利用して発電する方法。



青蓮寺ダム及び青蓮寺発電所（名張市）



水路式

川の上流に小さな堤（取水口）をつくって水を取り入れ、水路で適当な落差が得られるところまで水を導き、発電する方法。



長発電所（大台町）



ダム水路式

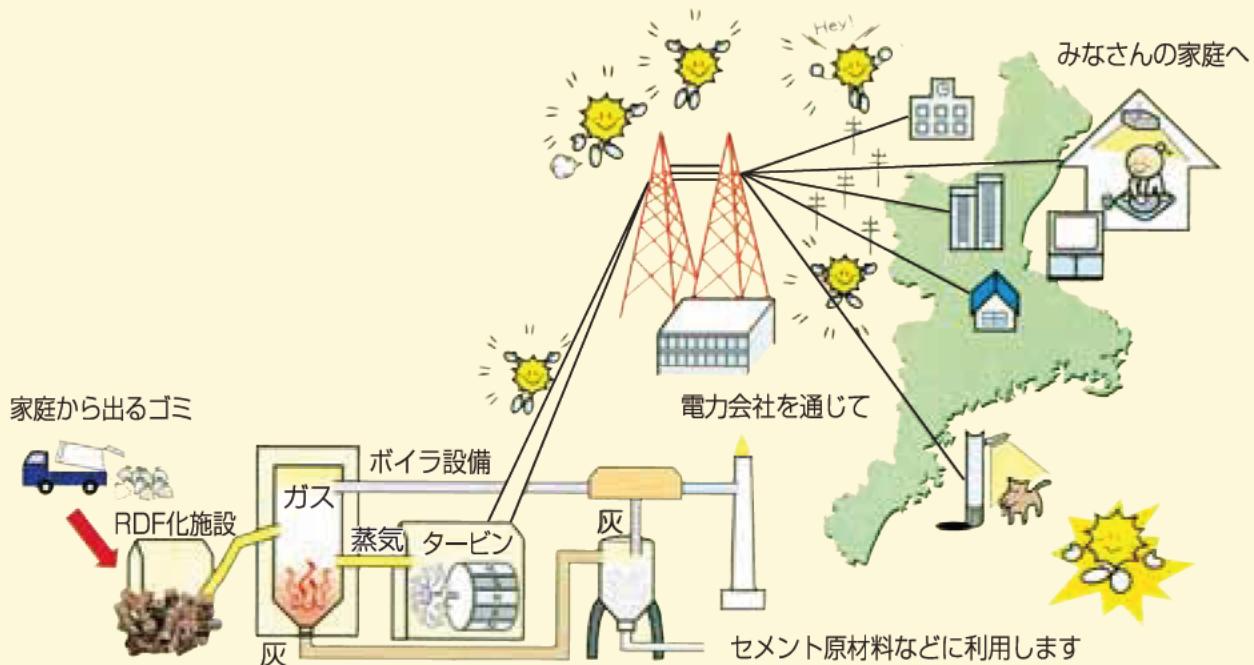
ダム式と水路式を組み合わせた方法で、ダムに貯めた水を水路で下流に導き、大きな落差を利用して発電する方法。



宮川第一発電所（紀伊長島町）

RDF焼却・発電のしくみ

家庭等から出るごみを各市町村でRDF（ごみ固形燃料）化し、その未利用エネルギーの有効活用を図り、高効率の廃棄物発電を行うことで、電力としてリサイクルしようとする発電施設です。



三重ごみ固形燃料発電所（桑名市）

企業庁の発電電力量

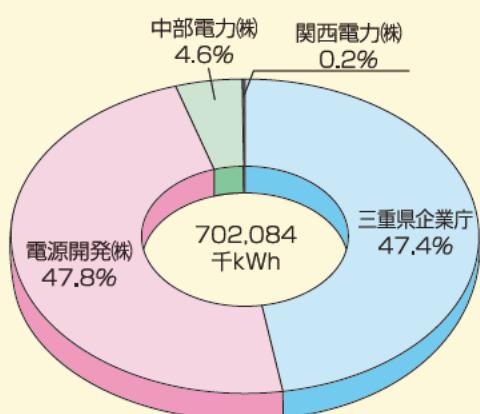
三重県の電気事業で発電した電力は、電力会社の送電線を通じて、県内の家庭などに届けられています。

現在11カ所の発電所で総出力は、109,850 kWであり、年間の発電電力量は（目標）約3億9千万kWhで、約11万世帯の標準的な家庭の年間使用量に相当します。

内訳 $(\text{水力 } 3\text{億}2\text{千万} + \text{RDF } 7\text{千万} = \text{約}3\text{億}9\text{千万})$

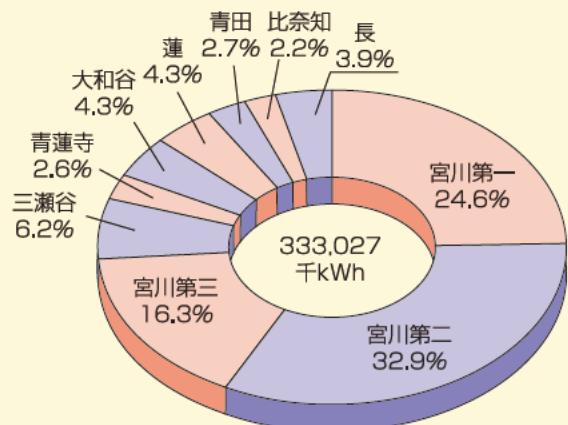
●県内水力発電電力量

（平成15年度実績）



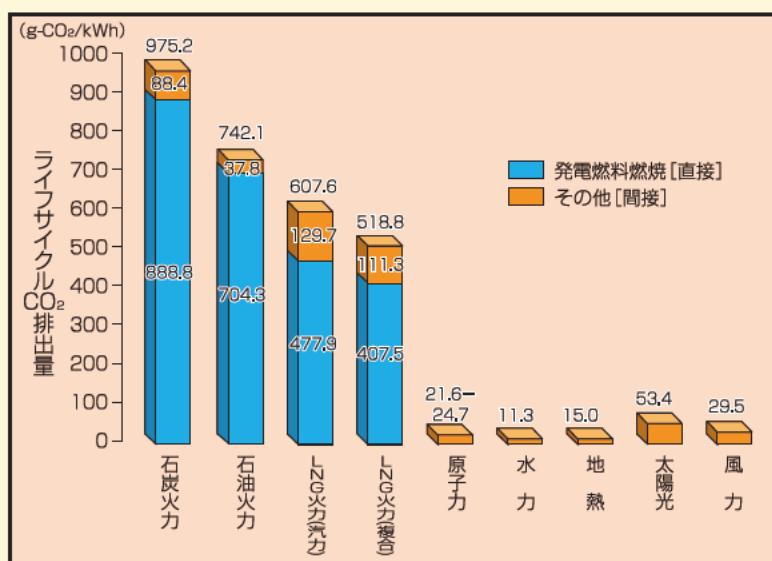
●県営水力発電所別の発電電力量

（平成15年度実績）



参考データ

●電源別に見たライフサイクルCO₂排出量



●三重県企業庁の水力発電量（目標）を他のエネルギーに換算



注) ライフサイクル：発電だけでなく燃料採掘、輸送、廃棄物処理、送変配電など電力生産に関わる一連の流れをいう。

[出典]「電力中央研究所 ライフサイクルCO₂排出量による発電技術の評価(2000.3)」
「電力中央研究所 ライフサイクルCO₂排出量による原子力発電技術の評価(2001.8)」

資料編

1 三重県企業庁組織

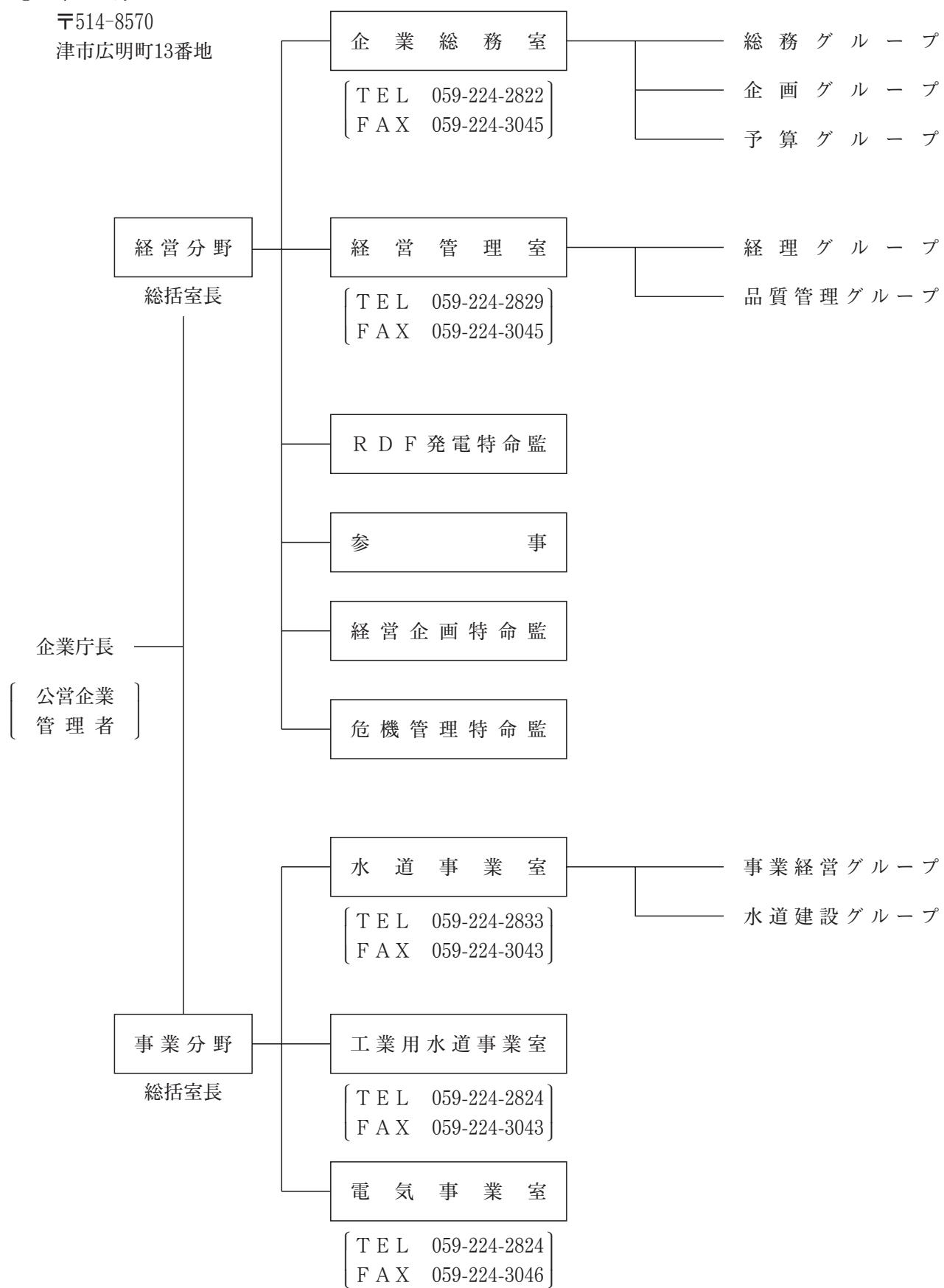
(平成17年4月1日現在)

(1) 組織図

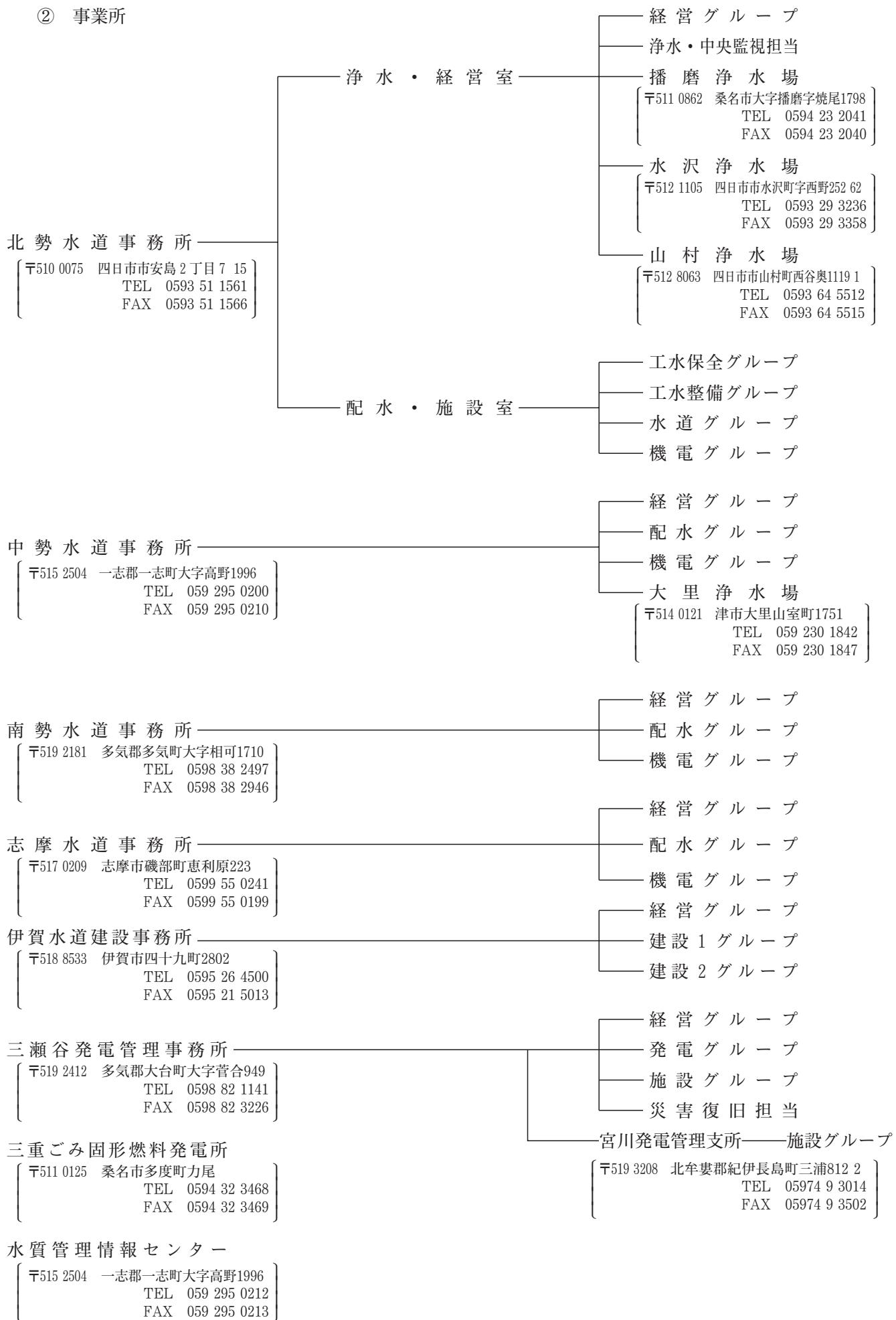
① 本 庁

〒514-8570

津市広明町13番地



② 事業所



(2) 職員配置表（平成17年4月1日）

① 本 庁

| 区 分 | 一 般 職 | | 計 |
|-----------------|-------|-----|----|
| | 事 務 | 技 術 | |
| 企 業 総 務 室 | 人 | 人 | 人 |
| | 19 | 2 | 21 |
| 経 営 管 理 室 | 11 | 1 | 12 |
| 水 道 事 業 室 | 2 | 9 | 11 |
| 工 業 用 水 道 事 業 室 | 2 | 5 | 7 |
| 電 气 事 業 室 | 3 | 9 | 12 |
| 小 計 | 37 | 26 | 63 |

② 事業所

| 区 分 | 一 般 職 | | 現 業 職 | | 計 |
|-------------------|-------|-----|-------|-------|-----|
| | 事 勿 | 技 術 | 総務技術員 | 機械操作手 | |
| 北 勢 水 道 事 務 所 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 |
| | 7 | 51 | 1 | 1 | 60 |
| 中 勢 水 道 事 勿 所 | 3 | 26 | 1 | | 30 |
| 南 勢 水 道 事 勿 所 | 2 | 19 | 1 | | 22 |
| 志 摩 水 道 事 勿 所 | 2 | 17 | 1 | 1 | 21 |
| 伊賀水道建設 事 勿 所 | 3 | 16 | | | 19 |
| 三瀬谷発電 管理事務所 | 3 | 36 | 1 | | 40 |
| 三重ごみ固形 燃料発電所 | 1 | 7 | | | 8 |
| 水 質 情 報 管理センター | - | 12 | | | 12 |
| 小 計 | 21 | 184 | 5 | 2 | 212 |

| | | | | | |
|------------|----|-----|---|---|-----|
| ①+② 合 計 | 58 | 210 | 5 | 2 | 275 |
|------------|----|-----|---|---|-----|

(注1) 企業庁長は除く。

(注2) 経営分野総括室長、R D F 発電特命監、参事、経営企画特命監、危機管理特命監は企業総務室に含む。

(注3) 事業分野総括室長は、水道事業室に含む。

2 予算等の概要

(1) 平成16・17年度予算（当初）総括表

(単位：千円)

| 事業名 | 年度 | 事業収益 A | 事業費用 B | 損益 A-B | 資本的収入 C | 資本的支出 D | 資本的収支差 C-D |
|-------|------|------------|------------|-----------|------------|------------|---------------|
| 水道 | 16 | 13,201,849 | 11,976,030 | 1,225,819 | 5,116,789 | 12,875,498 | △7,758,709 |
| | 17 | 11,805,533 | 11,165,665 | 639,868 | 9,372,621 | 13,288,985 | △3,916,364 |
| | 対前年比 | 89.4% | 93.2% | 52.2% | 183.2% | 103.2% | 50.5% |
| 工業用水道 | 16 | 6,862,762 | 6,252,197 | 610,565 | 3,301,612 | 6,780,282 | △3,478,670 |
| | 17 | 6,435,625 | 5,888,717 | 546,908 | 4,209,597 | 6,478,754 | △2,269,157 |
| | 対前年比 | 93.8% | 94.2% | 89.6% | 127.5% | 95.6% | 65.2% |
| 電気 | 16 | 3,516,927 | 3,429,275 | 87,652 | 190,098 | 1,378,090 | △1,187,992 |
| | 17 | 4,420,464 | 4,971,153 | △550,689 | 628,202 | 1,377,884 | △749,682 |
| | 対前年比 | 125.7% | 145.0% | — | 330.5% | 100.0% | 63.1% |
| 計 | 16 | 23,581,538 | 21,657,502 | 1,924,036 | 8,608,499 | 21,033,870 | △12,425,371 |
| | 17 | 22,661,622 | 22,025,535 | 636,087 | 14,210,420 | 21,145,623 | △6,935,203 |
| | 対前年比 | 96.1% | 101.7% | 33.1% | 165.1% | 100.5% | 55.8% |

(2) 費用の構成

水道事業

| 区分 | 平成13年度 | | | 平成14年度 | | | 平成15年度 | | | 平成16年度(予定) | | |
|-------|------------|----------|-----------|------------|----------|-----------|------------|----------|-----------|------------|----------|-----------|
| | 決算額 千円 | 構成比 % | 前年対比 % |
| 減価償却費 | 3,921,199 | 31.1% | 101.3% | 3,955,838 | 32.5% | 100.9% | 3,959,446 | 34.0% | 100.1% | 3,982,830 | 35.7% | 100.6% |
| 支払利息 | 4,549,886 | 36.1% | 95.1% | 4,186,486 | 34.3% | 92.0% | 3,715,819 | 31.9% | 88.8% | 3,225,420 | 28.9% | 86.8% |
| 人件費 | 1,354,598 | 10.7% | 114.6% | 1,270,959 | 10.4% | 93.8% | 1,183,033 | 10.2% | 93.1% | 1,131,644 | 10.1% | 95.7% |
| 修繕費 | 704,535 | 5.6% | 102.0% | 711,651 | 5.8% | 101.0% | 751,602 | 6.5% | 105.6% | 754,725 | 6.8% | 100.4% |
| 動力費 | 558,617 | 4.4% | 97.3% | 526,573 | 4.3% | 94.3% | 493,411 | 4.2% | 93.7% | 484,380 | 4.3% | 98.2% |
| 薬品費 | 49,779 | 0.4% | 92.2% | 47,524 | 0.4% | 95.5% | 44,628 | 0.4% | 93.9% | 51,929 | 0.5% | 116.4% |
| その他 | 1,463,138 | 11.7% | 90.7% | 1,489,469 | 12.3% | 101.8% | 1,482,232 | 12.8% | 99.5% | 1,521,312 | 13.6% | 102.6% |
| 計 | 12,601,752 | 100.0% | 98.7% | 12,188,500 | 100.0% | 96.7% | 11,630,171 | 100.0% | 95.4% | 11,152,240 | 100.0% | 95.9% |
| (受託) | 224,322 | | 2,240.1% | 73,054 | | 32.6% | 16,353 | | 22.4% | 13,611 | | 83.2% |
| 決算額 | 12,826,074 | | 100.4% | 12,261,554 | | 95.6% | 11,646,524 | | 95.0% | 11,165,851 | | 95.9% |

(注) 決算額は消費税を除く

工業用水道事業

| 区分 | 平成13年度 | | | 平成14年度 | | | 平成15年度 | | | 平成16年度(予定) | | |
|-------|-----------|----------|-----------|-----------|----------|-----------|-----------|----------|-----------|------------|----------|-----------|
| | 決算額 千円 | 構成比 % | 前年対比 % | 決算額 千円 | 構成比 % | 前年対比 % | 決算額 千円 | 構成比 % | 前年対比 % | 決算額 千円 | 構成比 % | 前年対比 % |
| 減価償却費 | 2,091,216 | 34.7% | 100.9% | 2,173,370 | 36.3% | 103.9% | 2,155,367 | 37.7% | 99.2% | 2,199,834 | 38.4% | 102.1% |
| 支払利息 | 1,190,221 | 19.7% | 85.0% | 1,150,957 | 19.2% | 96.7% | 1,076,355 | 18.8% | 93.5% | 960,805 | 16.8% | 89.3% |
| 人件費 | 834,772 | 13.8% | 94.9% | 714,905 | 11.9% | 85.6% | 600,538 | 10.5% | 84.0% | 602,086 | 10.5% | 100.3% |
| 修繕費 | 508,560 | 8.4% | 116.2% | 517,630 | 8.7% | 101.8% | 526,323 | 9.2% | 101.7% | 531,950 | 9.3% | 101.1% |
| 動力費 | 313,689 | 5.2% | 104.4% | 258,512 | 4.3% | 82.4% | 240,968 | 4.2% | 93.2% | 243,950 | 4.3% | 101.2% |
| 薬品費 | 6,826 | 0.1% | 76.8% | 8,019 | 0.1% | 117.5% | 12,004 | 0.2% | 149.7% | 15,991 | 0.3% | 133.2% |
| その他 | 1,084,203 | 18.1% | 43.0% | 1,166,353 | 19.5% | 107.6% | 1,107,175 | 19.4% | 94.9% | 1,177,015 | 20.5% | 106.3% |
| 計 | 6,029,487 | 100.0% | 79.1% | 5,989,746 | 100.0% | 99.3% | 5,718,730 | 100.0% | 95.5% | 5,731,631 | 100.0% | 100.2% |
| (受託) | 0 | | 0.0% | 0 | | | 52,467 | | 皆増 | 0 | | |
| 決算額 | 6,029,487 | | 78.7% | 5,989,746 | | 99.3% | 5,771,197 | | 96.4% | 5,731,631 | | 99.3% |

(注) 決算額は消費税を除く

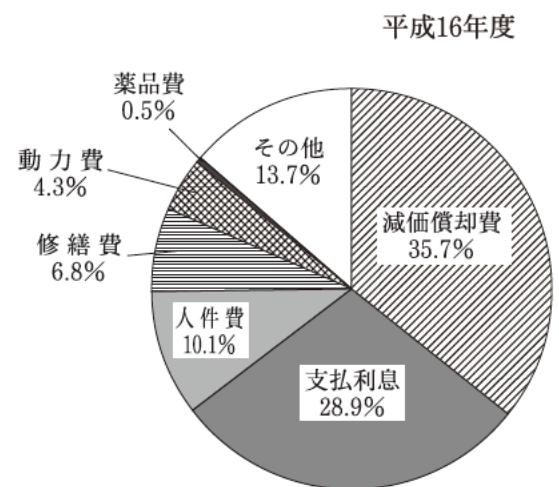
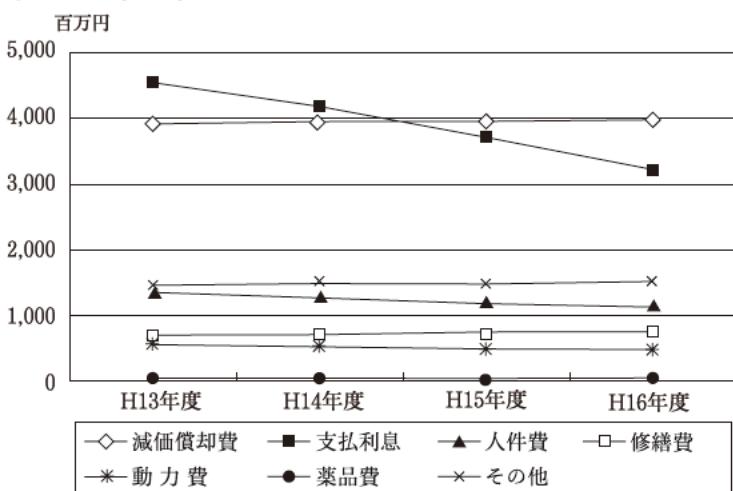
電気事業

| 区分 | 平成13年度 | | | 平成14年度 | | | 平成15年度 | | | 平成16年度(予定) | | |
|--------|-----------|----------|-----------|-----------|----------|-----------|-----------|----------|-----------|------------|----------|-----------|
| | 決算額 千円 | 構成比 % | 前年対比 % | 決算額 千円 | 構成比 % | 前年対比 % | 決算額 千円 | 構成比 % | 前年対比 % | 決算額 千円 | 構成比 % | 前年対比 % |
| 減価償却費 | 721,513 | 25.4% | 97.9% | 718,112 | 24.0% | 99.5% | 720,797 | 18.3% | 100.4% | 709,143 | 19.6% | 98.4% |
| 人件費 | 728,323 | 25.6% | 96.4% | 613,368 | 20.5% | 84.2% | 645,524 | 16.4% | 105.2% | 599,832 | 16.6% | 92.9% |
| 支払利息 | 484,923 | 17.0% | 94.1% | 452,678 | 15.2% | 93.4% | 419,924 | 10.7% | 92.8% | 387,971 | 10.7% | 92.4% |
| 修繕費 | 208,213 | 7.3% | 114.0% | 139,986 | 4.7% | 67.2% | 190,233 | 4.8% | 135.9% | 117,691 | 3.2% | 61.9% |
| 市町村交付金 | 178,462 | 6.3% | 95.4% | 169,355 | 5.7% | 94.9% | 167,410 | 4.2% | 98.9% | 163,103 | 4.5% | 97.4% |
| 附帯事業費用 | | | | 266,297 | 8.9% | 皆増 | 1,343,663 | 34.1% | 504.6% | 1,029,027 | 28.4% | 76.6% |
| その他 | 522,733 | 18.4% | 131.8% | 627,376 | 21.0% | 120.0% | 453,625 | 11.5% | 72.3% | 615,872 | 17.0% | 135.8% |
| 計 | 2,844,167 | 100.0% | 102.5% | 2,987,172 | 100.0% | 105.0% | 3,941,176 | 100.0% | 131.9% | 3,622,639 | 100.0% | 91.9% |
| (受託) | 2,506,589 | | 804.0% | 1,988,646 | | 79.3% | 928,887 | | 46.7% | 29,404 | | 3.2% |
| 決算額 | 5,350,756 | | 173.4% | 4,975,818 | | 93.0% | 4,870,063 | | 97.9% | 3,652,043 | | 75.0% |

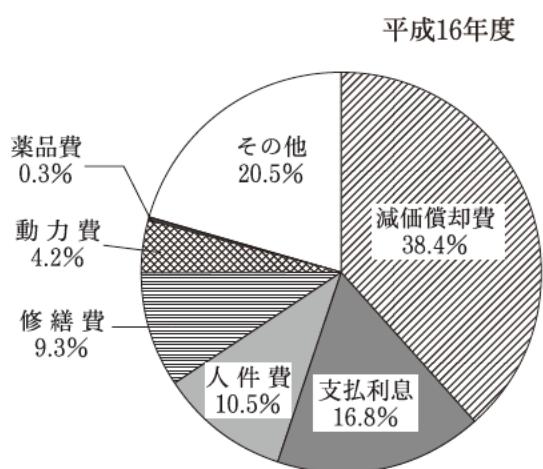
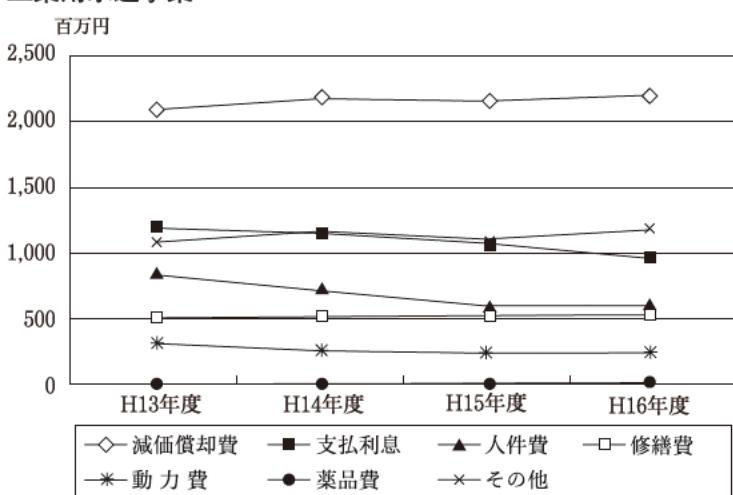
(注) 決算額は消費税を除く

平成14年度、15年度電気事業決算は県議会において不認定となっています。

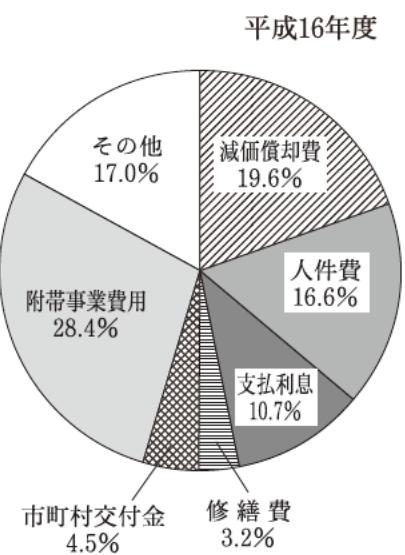
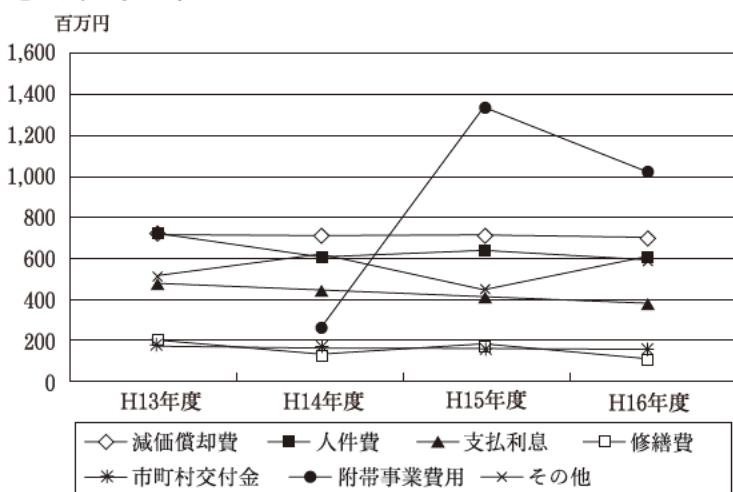
水道事業



工業用水道事業



電気事業



3 水道事業の概要

(1) 事業概要

《営業関係》

三重県の水道事業は、近年、水源開発適地の減少により、大きな開発コストを伴う膨大な財政負担、水源水質の悪化など市町村単独での水源確保が困難な状況となっているため、各受水市町村から要請を受け県営で水道用水供給事業を行っています。

現在、給水を実施している営業事業は、北中勢水道用水供給事業及び南勢志摩水道用水供給事業の2事業であり、給水能力は、6浄水場で日量447,066m³となっており、県内の28市町村に供給しています。これは、県全体の水道水需要量の27.3%（平成15年度）に相当しています。

また、施設の合理的・効率的運用を行うため、平成13年4月から大里浄水場の運転監視操作を中勢水道事務所から遠隔制御で行っています。さらに、平成16年4月から播磨浄水場及び水沢浄水場の運転監視操作を北勢水道事務所から遠隔制御で行っています。

《営業関係》

(平成17年4月1日現在)

| 事業名 | 水源 | 計画目標年度 | 給水対象市町村及び給水量(m ³ /日) | 給水能力(m ³ /日) | 給水開始年月日 | 工期 | 事業費(千円) |
|--|--|--------|---|-----------------------------|--|----------------|--------------------------------------|
| 北 中 勢 水 道 用 水 供 給 事 業 | 北勢系 木曽川用水系 (岩屋ダム) | 昭和60年度 | 桑名市 24,300 朝日町 1,200 四日市市 36,200 川越町 5,800 鈴鹿市 10,000 木曽岬町 2,800 計 80,300 | 80,300 | (一部給水： 昭和52.3.28) 全部給水： 昭和54.4.1 | 昭和46 ～53年度 | 12,214,986 |
| | 北勢系 三重用水系 (三重用水) | | 四日市市 41,800 鈴鹿市 6,600 菰野町 2,600 計 51,000 | | | | |
| 北 中 勢 水 道 用 水 供 給 事 業 | 北勢系 長良川水系 (長良川河口堰) | 平成22年度 | 桑名市 2,000 四日市市 700 木曽岬町 1,700 朝日町 1,000 川越町 1,000 計 6,400 | 6,400 (全部給水時 47,600) | (一部給水： 平成13.4.1) 全部給水： (予定) 平成23.4.1 | 平成10 ～22年度 | 36,100,000 |
| | 中勢系 雲出川水系 (君ヶ野ダム) | | 津市 50,916 一志町 5,000 (香良洲町を含む) 白山町 5,000 久居市 16,000 松阪市 4,500 計 81,416 | | | | |
| 南 勢 志 摩 水 道 用 水 供 給 事 業 | 中勢系 長良川水系 (長良川河口堰) | 平成22年度 | 津市 28,000 安濃町 2,600 (香良洲町を含む) 一志町 2,400 久居市 6,900 白山町 3,500 松阪市 8,300 美里村 900 河芸町 4,800 芸濃町 1,400 計 58,800 | 58,800 (全部給水時 83,584) | (一部給水： 平成10.4.1) 全部給水： 〔未定〕 | 平成5 ～9年度 | 37,281,000 (全体計画) (75,452,000) |
| | 志摩系 (神路ダム 及び 恵利原ダム) 櫛田川 (蓮ダム) | | 志摩市 41,000 計 41,000 | | | | |
| 南 勢 志 摩 水 道 用 水 供 給 事 業 | 南勢系 櫛田川 (蓮ダム) | 平成17年度 | 松阪市 61,000 度会町 500 伊勢市 30,000 玉城町 500 (御園村を含む) 多気町 4,050 鳥羽市 20,000 勢和村 2,000 明和町 2,800 二見町 5,000 小俣町 2,300 計 128,150 | 128,150 | (一部給水： 昭和62.5.1) 全部給水： 平成11.4.1 | 昭和50 ～平成7年度 | 66,678,826 |
| | 合計 | | | 447,066 | | | |

《建設関係》

北中勢水道用水供給事業（北勢系第2次拡張事業）は、計画一日最大給水量47,600m³/日で北勢地域10市町に供給するため、平成10年度から建設事業を実施しており、平成13年4月から6,400m³/日で一部給水を開始しています。なお、全部給水開始時期は平成18年4月を予定していましたが、受水予定市町を5年延伸の要望があり、関係者間で協議を重ねた結果、給水開始時期を平成23年4月とし、工事期間を平成22年度まで延伸する事業計画の見直しを行うとともに、専用事業費を374億円から361億円に変更いたしました。

北中勢水道用水供給事業（中勢系第2次拡張事業）は、計画一日最大給水量83,584m³/日で中勢地域11市町に供給するため、平成5年度から建設事業を実施しており、平成10年4月から58,800m³/日の一部給水を開始しています。なお、全部給水開始時期は平成17年4月を予定していましたが、受水市町と協議した結果、水需給状況を考慮のうえ当面施設整備は行わないこととし、現在、建設事業を休止しています。

伊賀水道用水供給事業は、計画一日最大給水量48,500m³/日で伊賀地域に供給するため、平成10年度から建設事業を実施しています。平成15年度に受水予定市町村の水需給計画の見直しを行い、計画一日最大給水量を48,500m³/日から28,750m³/日に、給水開始時期を平成17年4月から平成21年4月に変更を行うこととし、専用事業費を361億円から279.27億円に変更いたしました。

(建設関係)

(平成17年4月1日現在)

| 事業名 | 水源 | 計画目標年度 | 給水対象市町村及び給水量(m ³ /日) | 給水能力(m ³ /日) | 給水開始年月日 | 工期 | 事業費(千円) | |
|------------------------------------|-----------------|--------|---|---|---|---|---------------|------------|
| 北中勢水道用水供給事業 北勢系第2次拡張事業 長良川水系 | 長良川 (長良川河口堰) | 平成22年度 | 桑名市 6,500 四日市市 13,000 鈴鹿市 13,000 亀山市 2,600 木曽岬町 2,700 | 朝日町 2,200 川越町 3,600 菰野町 4,000 計 47,600 | 47,600 | (一部給水: 平成13.4.1) 全部給水(予定) 平成23.4.1 | 平成10 ~22年度 | 36,100,000 |
| | | | 津市 44,484 (香良洲町含む) 久居市 10,000 松阪市 10,200 一志町 3,200 白山町 5,000 | | | | | |
| 中勢系第2次拡張事業 長良川水系 | 長良川 (長良川河口堰) | 平成22年度 | 芸濃町 1,500 安濃町 3,000 美里村 1,000 計 83,584 | 83,584 | (一部給水: 平成10.4.1) 全部給水(予定) [未定] | 事業 休止中 | 75,452,000 | |
| | | | 河芸町 5,200 | | | | | |
| 伊賀水道用水供給事業 | 木津川 (川上ダム) | 平成30年度 | 伊賀市 28,750 | 28,750 | 全部給水 (予定) 平成21.4.1 | 平成10 ~20年度 | 27,927,000 | |

(2) 水質

水道水の水質に関する基準は、水道法に基づく「水質基準項目(50項目)」及び「水質管理目標設定項目(27項目)」があります。三重県企業庁が供給している水道水は、良好な水質を保っています。

色・臭い・味覚等に関する項目 (平成16年度 清水年平均)

| | 項目 | 単位 | 目標値 ^{※1} | 北勢水道事務所 | | 中勢水道事務所 | | 南勢水道事務所 | | 志摩水道事務所 | |
|----|---------------------|------|-------------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|---------|
| | | | | 播磨淨水場 | 水沢淨水場 | 高野淨水場 | 大里淨水場 | 多氣淨水場 | 磯部淨水場 | | |
| 色 | マンガン | mg/1 | 0.01以下 | 0.001未満 | 0.001未満 |
| | アルミニウム | mg/1 | ※2 0.2以下 | 0.03 | 0.04 | 0.04 | 0.04 | 0.03 | 0.05 | 0.05 | 0.08 |
| 臭い | 残留塩素 | mg/1 | 1以下 | 0.65 | 0.60 | 0.60 | 0.70 | 0.55 | 0.65 | | |
| | 2メチルイソボネオール | mg/1 | ※2 0.00002以下 | 0.000001未満 | |
| 味覚 | ジェオスミン | mg/1 | ※2 0.0002以下 | 0.000001未満 | |
| | 臭気強度(TON) | mg/1 | 3以下 | 1未満 | 1未満 |
| 味覚 | 遊離炭酸 | mg/1 | 20以下 | 1.5 | 2.0 | 2.0 | 1.5 | 2.0 | 2.0 | 2.0 | 2.0 |
| | 有機物等(過マンガン酸カリウム消費量) | mg/1 | 3以下 | 1.8 | 1.2 | 2.1 | 2.0 | 1.2 | 1.2 | 1.2 | 1.9 |
| 濁り | カルシウム、マグネシウム等(硬度) | mg/1 | 10以上~100以下 | 21 | 34 | 33 | 19 | 35 | 51 | | |
| | 蒸発残留物 | mg/1 | 30以上~200以下 | 55 | 62 | 76 | 55 | 61 | 73 | | |
| 腐食 | 濁度 | 度 | 1以下 | 0.1未満 | |
| | ランゲリア指数(腐食性) | mg/1 | 1以上 (極力0に近づける) | 2.2 | 1.4 | 1.8 | 2.3 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 1.1 |
| | pH値 | mg/1 | 7.5程度 | 7.4 | 7.6 | 7.3 | 7.1 | 7.5 | 7.5 | 7.5 | |

※1 より質の高い水をお届けするために定められた目標値です。(水質基準を補完する項目。平成15年10月厚生労働省健康局長通知)

※2 水道法に基づく水質基準値です。

(3) 営業実績等の概況

① 給水実績等の推移

| 事業名 | 区分 | 年 度 | | 平成12年度 | 平成13年度 | 平成14年度 | 平成15年度 | 平成16年度 |
|------------|--------|--------------|---|------------|------------|------------|------------|------------|
| | | 北 | 中 | | | | | |
| 北勢水道用水供給事業 | 木曾川用水系 | 給水実績 (m³/年) | | 14,647,791 | 13,698,604 | 12,811,945 | 12,732,613 | 11,671,078 |
| | | 給水能力 (m³/日) | | 80,300 | 80,300 | 80,300 | 80,300 | 80,300 |
| | | 最大給水量 (m³/日) | | 55,921 | 52,056 | 49,706 | 45,407 | 43,118 |
| | | 平均給水量 (m³/日) | | 40,131 | 37,634 | 35,101 | 34,599 | 31,976 |
| | | 料金収入 (千円/年) | | 1,557,543 | 1,517,117 | 1,482,538 | 1,479,444 | 1,438,044 |
| 北勢水道用水供給事業 | 三重用水系 | 給水実績 (m³/年) | | 12,105,277 | 12,082,671 | 12,111,192 | 12,202,303 | 12,105,862 |
| | | 給水能力 (m³/日) | | 51,000 | 51,000 | 51,000 | 51,000 | 51,000 |
| | | 最大給水量 (m³/日) | | 36,937 | 38,659 | 38,949 | 38,441 | 38,631 |
| | | 平均給水量 (m³/日) | | 33,156 | 33,194 | 33,181 | 33,158 | 33,167 |
| | | 料金収入 (千円/年) | | 2,927,496 | 2,925,800 | 2,927,939 | 2,934,773 | 2,927,540 |
| 北勢水道用水供給事業 | 長良川用水系 | 給水実績 (m³/年) | | | 659,105 | 839,716 | 861,352 | 981,374 |
| | | 給水能力 (m³/日) | | | 6,400 | 6,400 | 6,400 | 6,400 |
| | | 最大給水量 (m³/日) | | | 4,054 | 4,289 | 3,532 | 3,879 |
| | | 平均給水量 (m³/日) | | | 1,867 | 2,301 | 2,341 | 2,689 |
| | | 料金収入 (千円/年) | | | 129,940 | 140,269 | 141,113 | 145,794 |
| 中勢水道用水供給事業 | 雲出川用水系 | 給水実績 (m³/年) | | 18,090,708 | 15,134,837 | 14,053,760 | 14,174,829 | 15,044,342 |
| | | 給水能力 (m³/日) | | 81,416 | 81,416 | 81,416 | 81,416 | 81,416 |
| | | 最大給水量 (m³/日) | | 76,312 | 77,890 | 55,427 | 53,830 | 74,926 |
| | | 平均給水量 (m³/日) | | 49,564 | 41,579 | 38,503 | 38,519 | 41,217 |
| | | 料金収入 (千円/年) | | 1,076,794 | 961,516 | 919,354 | 924,075 | 957,986 |
| 南勢水道用水供給事業 | 長良川用水系 | 給水実績 (m³/年) | | 5,384,548 | 5,960,761 | 6,251,865 | 6,444,958 | 6,716,020 |
| | | 給水能力 (m³/日) | | 58,800 | 58,800 | 58,800 | 58,800 | 58,800 |
| | | 最大給水量 (m³/日) | | 33,600 | 22,242 | 23,235 | 22,337 | 25,047 |
| | | 平均給水量 (m³/日) | | 14,752 | 16,376 | 17,128 | 17,513 | 18,400 |
| | | 料金収入 (千円/年) | | 1,776,609 | 1,811,182 | 1,828,648 | 1,840,233 | 1,856,497 |
| 南勢水道用水供給事業 | 志摩系 | 給水実績 (m³/年) | | 8,580,988 | 8,415,691 | 8,356,310 | 8,313,728 | 8,171,709 |
| | | 給水能力 (m³/日) | | 41,000 | 41,000 | 41,000 | 41,000 | 41,000 |
| | | 最大給水量 (m³/日) | | 34,697 | 32,766 | 32,569 | 29,625 | 31,893 |
| | | 平均給水量 (m³/日) | | 23,510 | 23,120 | 22,894 | 22,592 | 22,388 |
| | | 料金収入 (千円/年) | | 1,192,392 | 1,184,292 | 1,181,976 | 1,148,982 | 1,139,743 |
| 南勢水道用水供給事業 | 南勢系 | 給水実績 (m³/年) | | 21,317,422 | 21,475,092 | 21,682,023 | 21,789,164 | 21,671,965 |
| | | 給水能力 (m³/日) | | 128,150 | 128,150 | 128,150 | 128,150 | 128,150 |
| | | 最大給水量 (m³/日) | | 76,354 | 74,944 | 70,255 | 72,671 | 71,569 |
| | | 平均給水量 (m³/日) | | 58,404 | 58,998 | 59,403 | 59,210 | 59,375 |
| | | 料金収入 (千円/年) | | 3,315,657 | 3,318,401 | 3,333,473 | 3,337,246 | 3,330,783 |
| 合計 | 合 計 | 給水実績 (m³/年) | | 80,126,734 | 77,426,761 | 76,106,811 | 76,518,947 | 76,362,350 |
| | | 給水能力 (m³/日) | | 440,666 | 447,066 | 447,066 | 447,066 | 447,066 |
| | | 最大給水量 (m³/日) | | 219,517 | 212,768 | 208,511 | 207,932 | 209,212 |
| | | 平均給水量 (m³/日) | | 11,846,491 | 11,848,248 | 11,814,197 | 11,805,866 | 11,796,387 |

(注) 料金収入は消費税抜

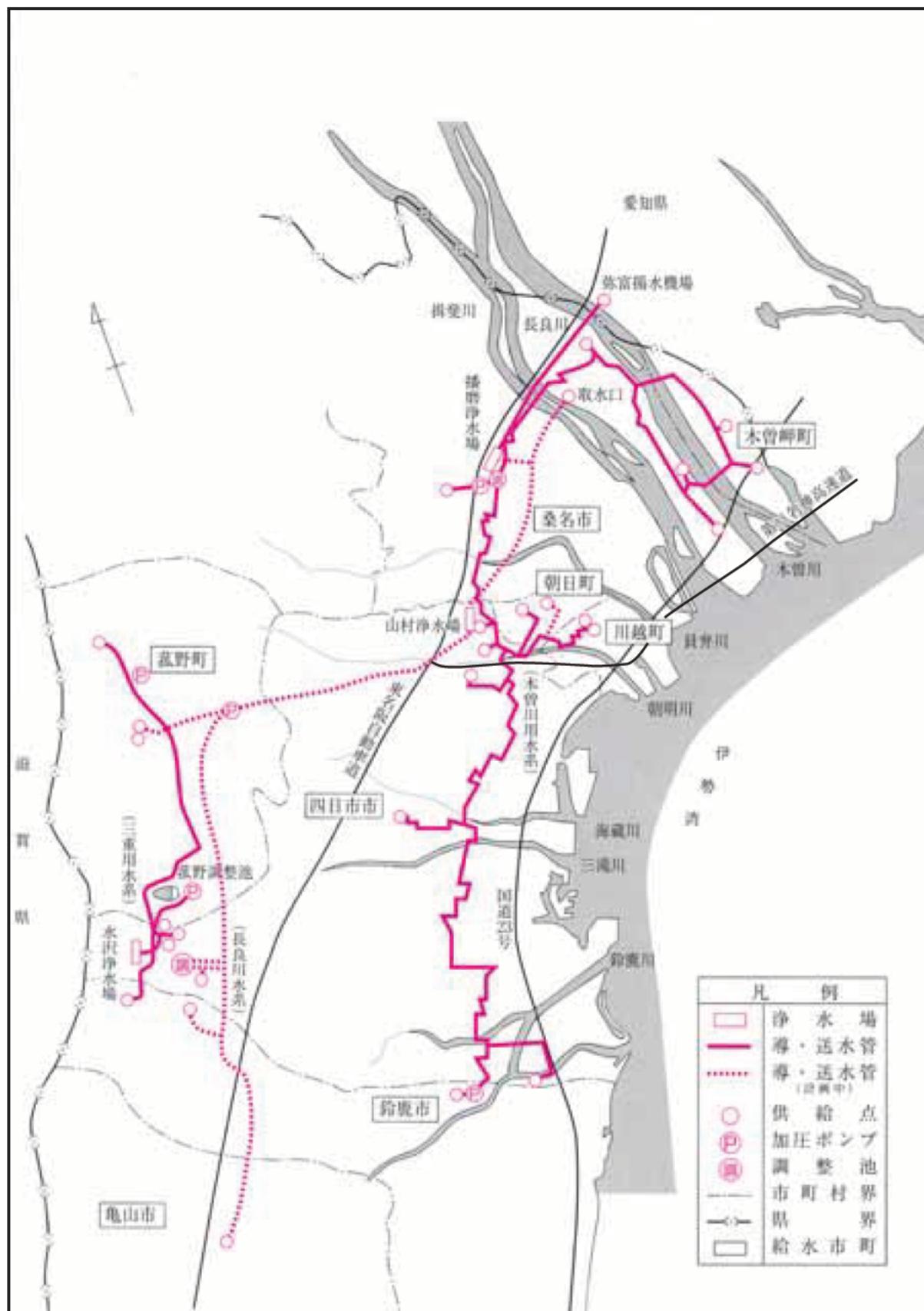
② 水道料金の推移

| 事業別 | | 年度 | 昭和 51～52 年度 | 昭和 53～54 年度 | 昭和 55～59 年度 | 昭和60 ～平成 元年度 | 平成 2 年度 | 平成 3～6 年度 | 平成 7～8 年度 | 平成 9 年度 | 平成 10～11 年度 | 平成12 年度 | 平成 13～14 年度 | 平成 15～16 年度 | 平成 17～21 年度 |
|-----|-------|--------|-------------------|-------------------|-------------------|--------------------|------------|-----------------|-----------------|--------------|-------------------|------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 北勢系 | 中出川水系 | 基本料金 | 390 | 390 | 390 | 410 | 400 | 400 | (800) 380 | (800) 380 | 380 | 380 | 380 | 380 | 470 |
| | | 使用料金 | 30 | 30 | 33 | 36 | 36 | 36 | 39 | 39 | 39 | 39 | 39 | 39 | 39 |
| | | 超過料金 | 138 | 138 | 138 | 138 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 |
| | 長良川水系 | 基本料金 | | | | | | | | | 2,060 | 2,060 | 2,060 | 2,060 | 2,030 |
| | | 使用料金 | | | | | | | | | 60 | 60 | 60 | 60 | 39 |
| | | 超過料金 | | | | | | | | | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 |
| | 中北勢系 | 木曾川用水系 | 800 | 890 | 990 | 1,070 | 1,030 | 1,030 | 1,020 | 1,020 | 1,020 | 1,020 | 1,020 | 1,020 | 680 |
| | | 使用料金 | 40 | 40 | 42 | 36 | 36 | 36 | 39 | 39 | 39 | 39 | 39 | 39 | 39 |
| | | 超過料金 | 190 | 190 | 190 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 |
| | | 三重用水系 | | | | | | 3,300 | 3,300 | 3,300 | 3,300 | 3,300 | 3,300 | 3,300 | 3,300 |
| | | 基本料金 | | | | | | 75 | 75 | 75 | 75 | 75 | 75 | 75 | 65 |
| | | 使用料金 | | | | | | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 |
| | | 超過料金 | | | | | | | | | | | | | |
| | | 長良川水系 | | | | | | | | | | 1,400 | 1,400 | 1,400 | |
| | | 基本料金 | | | | | | | | | | | | 39 | 39 |
| | | 使用料金 | | | | | | | | | | | | 180 | 180 |
| | | 超過料金 | | | | | | | | | | | | 180 | 180 |
| 南勢系 | 志摩系 | 基本料金 | 780 | 780 | 780 | 1,040 | 1,270 | 1,270 | 1,520 | 1,850 | 1,850 | 1,740 | 1,740 | 1,320 | 1,290 |
| | | 使用料金 | 40 | 40 | 44 | 36 | 36 | 36 | 39 | 39 | 39 | 39 | 39 | 60 | 39 |
| | | 超過料金 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 |
| | 南勢系 | 基本料金 | | | | 1,800 | 1,770 | 1,770 | 1,460 | 1,460 | 1,460 | 1,320 | 1,320 | 1,320 | 1,290 |
| | | 使用料金 | | | | 60 | 60 | 60 | 60 | 60 | 60 | 60 | 60 | 60 | 39 |
| | | 超過料金 | | | | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 | 180 |

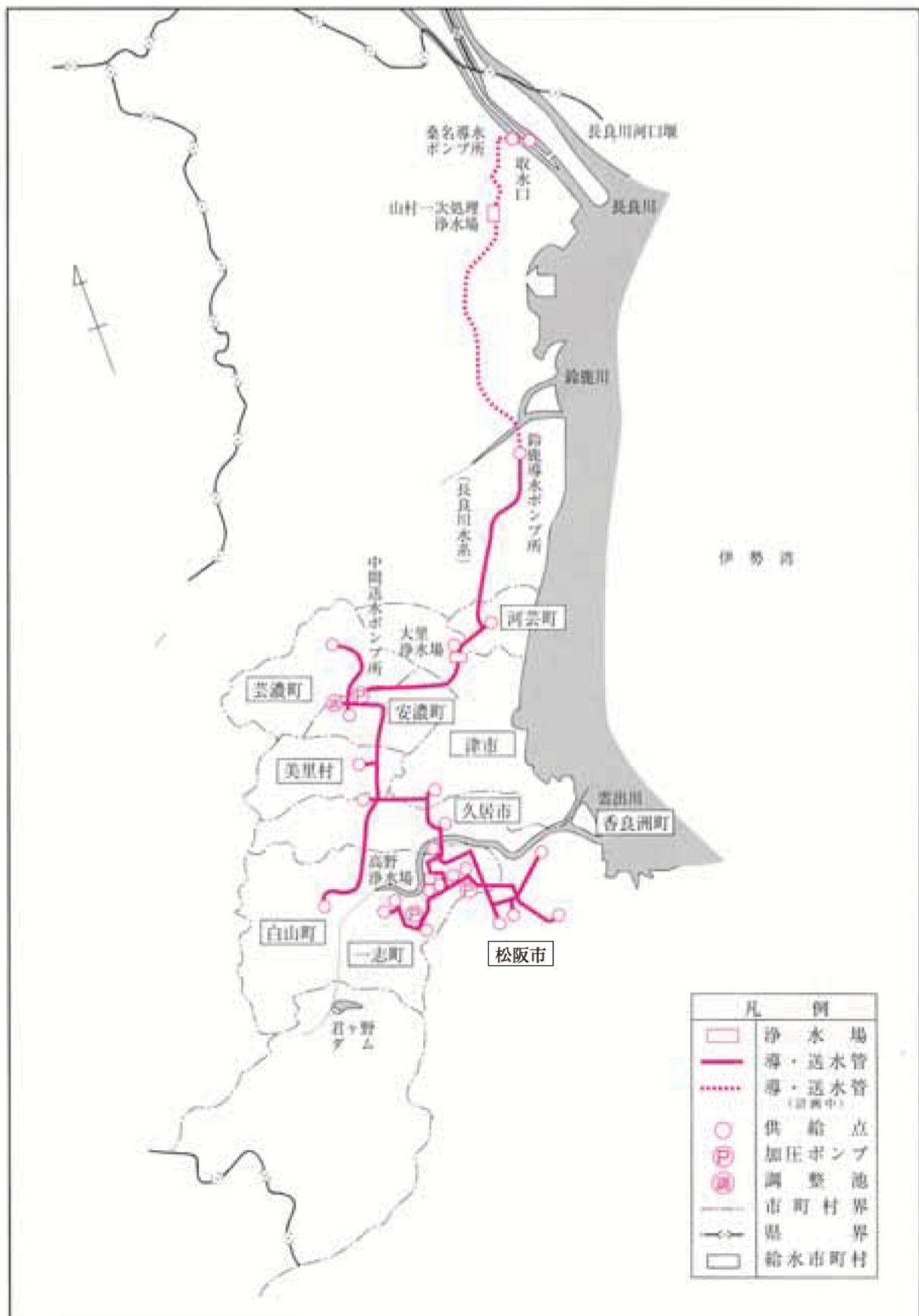
基本料金：契約水量m³当たり月額。使用料金：使用水量m³当たり。超過料金：超過使用水量m³当たり。

※中勢（ ）内は拡張（暫定）分。

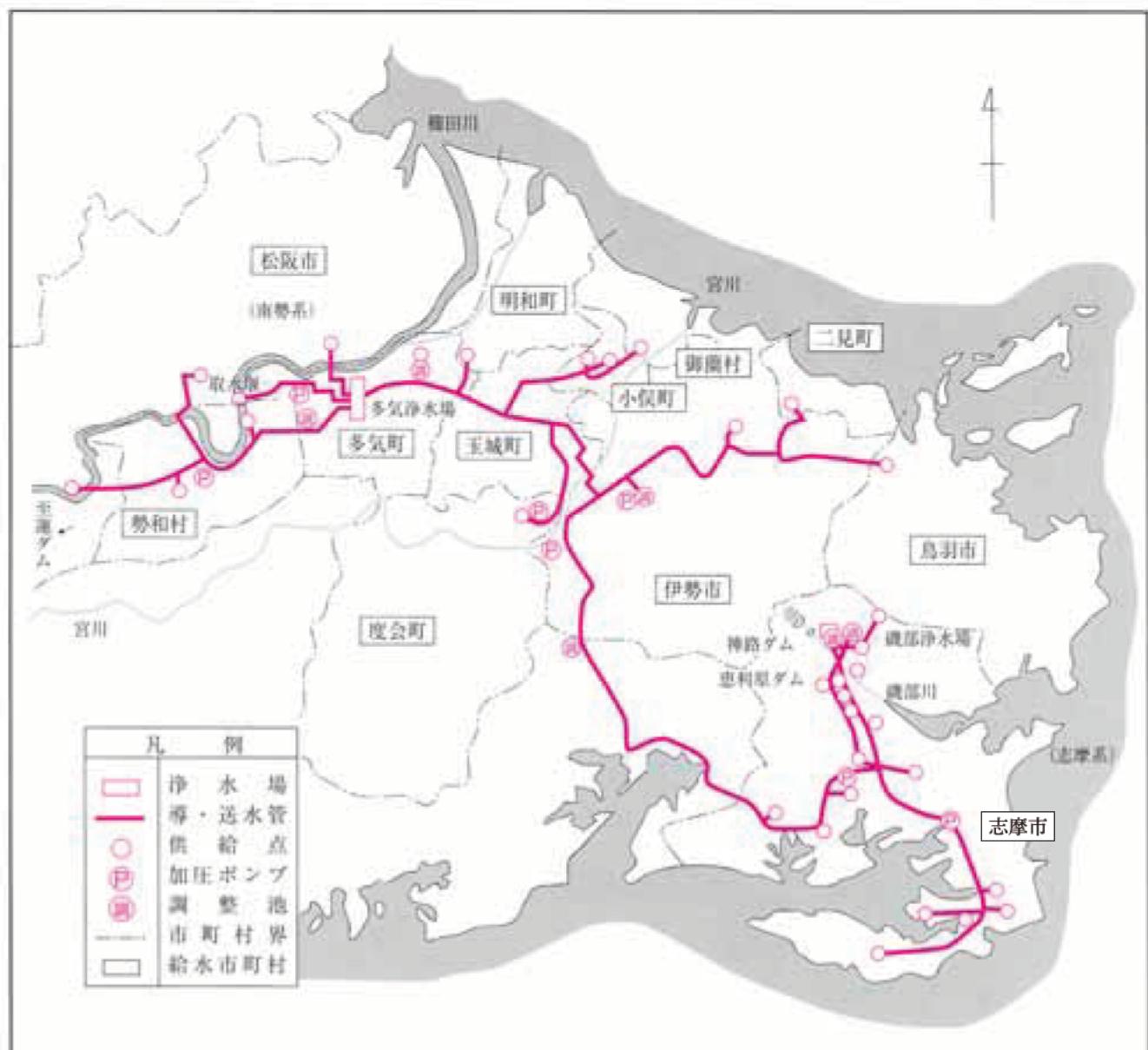
北中勢水道用水供給事業（北勢系）概要図



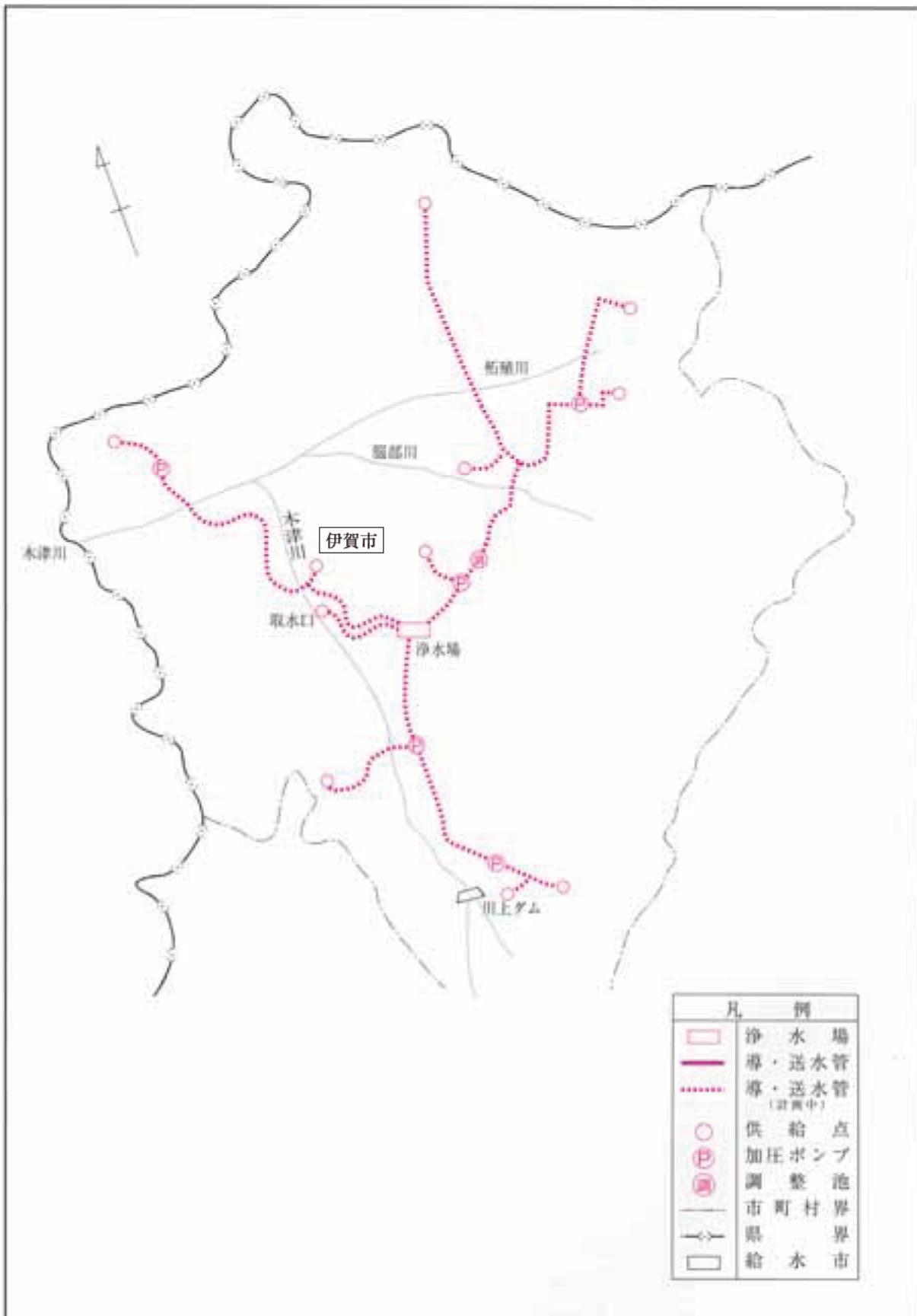
北中勢水道用水供給事業（中勢系）概要図



南勢志摩水道用水供給事業概要図



伊賀水道用水供給事業概要図



4 工業用水道事業の概要

(1) 事業概要

当県の工業用水道事業は、北伊勢臨海部の石油化学を中心とする工業の発展に伴う水需要増大への対応や、地盤沈下及び塩水浸入に対する地下水代替用水確保の必要性から、昭和31年に四日市工業用水道の給水を開始して以来、北伊勢工業用水道第1期から第4期事業へと拡張を重ねてきました。この間、他の地域でも事業を進め、昭和38年には松阪工業用水道、昭和46年には中伊勢工業用水道、昭和61年には多度工業用水道で給水を開始しました。現在、県域全体では最大給水能力911,500m³/日を有し、県内の87社99工場に工業用水を給水することで、産業の発展、県土の保全に寄与しています。

また、将来の水需要に備えて三瀬谷ダム、三重用水、長良川河口堰に水源を確保しています。

(営業関係)

(平成17年4月1日現在)

| 事業名 | 給水区域 | 給水工場数 | 水源 | 給水能力 (m ³ /日) | 契約給水量 (m ³ /日) | 給水開始年月日 | 工期 | 事業費 (千円) |
|------------|--|---------|-------------------------------|-----------------------------|------------------------------|------------------|---------------|----------------------------|
| 北伊勢工業用水道事業 | 桑名市 四日市市 鈴鹿市 津市 三重郡朝日町 三重郡川越町 | 67社78工場 | 長良川 員弁川 木曽川用水 (岩屋ダム) | (990,000) 830,000 | 699,360 | (昭和 31.4.1) | 昭和28年～ | (14,270,826) 63,147,035 |
| 多度工業用水道事業 | 桑名市 | 1社1工場 | 三重用水 | (10,000) 10,000 | 8,000 | (昭和 61.4.1) | 昭和 59～62年度 | (10,434,228) 1,813,600 |
| 中伊勢工業用水道事業 | 津市 久居市 | 12社13工場 | 雲出川 (君ヶ野ダム) | (50,000) 33,000 | 19,590 | (昭和 46.5.1) | 昭和44～ | (429,110) 5,200,000 |
| 松阪工業用水道事業 | 松阪市 | 7社7工場 | 櫛田川 | (38,500) 38,500 | 38,500 | (昭和 38.10.15) | 昭和 36～62年度 | 908,208 |
| 合計 | | 87社99工場 | | (1,088,500) 911,500 | 765,450 | | | (25,134,164) 71,068,843 |

(注1) 給水能力の()内は全体計画量を、給水開始年月日の()内は一部給水開始年月日を、事業費の()内は水源負担額(外数)を示す。

(注2) 給水区域は現在給水している区域を示す。

(確保水源)

(平成17年4月1日現在)

| 事業名 | 計画給水区域 | 水源 | 計画給水量 (m³/日) | 工期 | 事業費 | 備考 |
|-----------------------------|--|---------------------|-----------------|----------------------------------|----------------------|----------------------|
| 鈴鹿工業用水道事業 | 四日市市 鈴鹿市 | 牧田川 ほか (三重用水) | (注) 4,800 | (三重用水) 昭和47年度 ～ 平成4年度 | (三重用水) 約30.1億円 | 水源施設は完了 (水資源機構管理) |
| 長良川河口堰関連 工業用水道事業 (仮称) | 北勢地域 | 長良川 (長良川河口堰) | 515,000 | (長良川河口堰) 昭和49年度 ～ 平成6年度 | (長良川河口堰) 約266.3億円 | 水源施設は完了 (水資源機構管理) |
| 南伊勢工業用水道事業 | (注) 松阪市、伊勢市、 多気町、玉城町、 明和町、度会町、 勢和村 | 宮川 (三瀬谷ダム) | (注) 35,000 | (三瀬谷ダム) 昭和40年度 ～ 平成41年度 | (三瀬谷ダム) 約4.7億円 | 水源施設は完了 (電気事業と共同) |
| 計 | | | 554,800 | | | |

(注) 現時点での状況を記述。

(2) 料金

当県では、基本料金と使用料金からなる二部料金制を採用しています。

「基本料金」は、基本使用水量（新規給水時の契約水量）に基本料金単価（円／m³）を乗じて得た金額であり、「使用料金」は、使用水量（基本使用水量から休止水量を減じて得た水量）に使用料金単価（円／m³）を乗じて得た金額です。また、使用水量を超えて受水した場合には、超過料金をいただいています。

なお、季節的に使用量が少ない時期等には、休止水量を申し出ていただく（5、11月）ことにより、その分の使用料金を減額しています。

料金単価表

| | 基本料金(円／m³) | 使用料金(円／m³) | 超過料金(円／m³) |
|------------|------------|------------|------------|
| 北伊勢工業用水道事業 | 17.0 | 3.5 | 41.0 |
| 多度工業用水道事業 | 45.0 | | 90.0 |
| 中伊勢工業用水道事業 | 21.3 | 1.9 | 46.4 |
| 松阪工業用水道事業 | 14.9 | 1.1 | 32.0 |

(3) 水質

水質実績表（平成16年度平均）

| 検査項目 | 三重県の 水質標準値 | 北伊勢工業用水道 | | | 多度 工業用水道 | 中伊勢 工業用水道 | 松阪 工業用水道 |
|-------------|---------------|----------|-------|-------|-------------|--------------|-------------|
| | | 沢地浄水場 | 伊坂浄水場 | 山村浄水場 | | | |
| 水温 | | 16.5 | 15.2 | 16.1 | 15.5 | 16.3 | 17.3 |
| 濁度 | 10度以下 | 2.3 | 2.4 | 2.7 | 0.1未満 | 0.4 | 0.1未満 |
| pH | 6.5以上8.0以下 | 7.4 | 7.5 | 7.5 | 6.8 | 7.1 | 7.1 |
| 酸消費量(アルカリ度) | 75mg/l以下 | 28.4 | 21.8 | 18.6 | 20.5 | 31.8 | 33.3 |
| 全硬度 | 120mg/l以下 | 34 | 26 | 22 | 44 | 40 | 40 |
| 全蒸発残留物 | 250mg/l以下 | 69 | 57 | 51 | 71 | 90 | 69 |
| 塩化物イオン | 20mg/l以下 | 5.0 | 5.8 | 5.3 | 5.7 | 7.0 | 4.9 |
| 鉄 | 0.3mg/l以下 | 0.09 | 0.07 | 0.07 | 0.01未満 | 0.03 | 0.01未満 |
| マンガン | 0.2mg/l以下 | 0.017 | 0.013 | 0.010 | 0.001未満 | 0.007 | 0.001未満 |

平成16年度実績は、三重県の水質標準値をすべてクリアしています。

(4) 営業実績等の概況

① 給水実績等の推移

| 事業名 | 区分 | 年度 | 平成11年度 | 平成12年度 | 平成13年度 | 平成14年度 | 平成15年度 | 平成16年度 |
|------------|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|--------|
| | | | | | | | | |
| 北伊勢工業用水道事業 | 基本水量(㎥/年) | 300,198,330 | 288,613,980 | 289,024,500 | 277,432,870 | 277,761,060 | 277,110,050 | |
| | 給水実績(㎥/年) | 170,119,879 | 167,751,979 | 157,334,020 | 160,109,359 | 157,976,811 | 156,649,020 | |
| | 給水能力(㎥/日) | 885,000 | 885,000 | 830,000 | 830,000 | 830,000 | 830,000 | |
| | 平均給水量(㎥/日) | 464,808 | 459,594 | 431,052 | 438,656 | 431,631 | 429,175 | |
| | 料金収入(千円/年) | 5,916,918 | 5,701,925 | 5,681,792 | 5,464,869 | 5,460,882 | 5,420,961 | |
| 多度工業用水道事業 | 基本水量(㎥/年) | 3,660,000 | 3,650,000 | 3,650,000 | 2,920,000 | 2,928,000 | 2,920,000 | |
| | 給水実績(㎥/年) | 3,054,935 | 3,268,338 | 3,240,747 | 2,707,549 | 2,827,858 | 2,925,853 | |
| | 給水能力(㎥/日) | 10,000 | 10,000 | 10,000 | 10,000 | 10,000 | 10,000 | |
| | 平均給水量(㎥/日) | 8,347 | 8,954 | 8,879 | 7,418 | 7,726 | 8,016 | |
| | 料金収入(千円/年) | 164,317 | 164,043 | 164,276 | 134,601 | 131,769 | 137,221 | |
| 中伊勢工業用水道事業 | 基本水量(㎥/年) | 7,008,900 | 8,075,250 | 8,887,750 | 8,887,750 | 8,960,900 | 8,712,990 | |
| | 給水実績(㎥/年) | 5,787,743 | 6,545,802 | 6,746,001 | 6,813,679 | 6,790,894 | 6,069,174 | |
| | 給水能力(㎥/日) | 33,000 | 33,000 | 33,000 | 33,000 | 33,000 | 33,000 | |
| | 平均給水量(㎥/日) | 15,814 | 17,934 | 18,482 | 18,668 | 18,554 | 16,628 | |
| | 料金収入(千円/年) | 162,704 | 187,806 | 207,235 | 206,919 | 218,178 | 202,061 | |
| 松阪工業用水道事業 | 基本水量(㎥/年) | 14,091,000 | 14,052,500 | 14,052,500 | 14,052,500 | 14,091,000 | 14,052,500 | |
| | 給水実績(㎥/年) | 10,463,419 | 10,382,314 | 10,093,852 | 10,265,261 | 10,736,638 | 11,163,702 | |
| | 給水能力(㎥/日) | 38,500 | 38,500 | 38,500 | 38,500 | 38,500 | 38,500 | |
| | 平均給水量(㎥/日) | 25,589 | 28,445 | 27,654 | 28,124 | 29,335 | 30,585 | |
| | 料金収入(千円/年) | 205,080 | 226,104 | 224,896 | 225,171 | 240,233 | 227,472 | |
| 合計 | 基本水量(㎥/年) | 324,958,230 | 314,391,730 | 315,614,750 | 303,293,120 | 303,740,960 | 302,795,540 | |
| | 給水実績(㎥/年) | 189,425,976 | 187,948,433 | 177,414,620 | 179,895,848 | 178,332,201 | 176,807,749 | |
| | 給水能力(㎥/日) | 966,500 | 966,500 | 911,500 | 911,500 | 911,500 | 911,500 | |
| | 平均給水量(㎥/日) | 514,558 | 514,927 | 486,067 | 492,866 | 487,246 | 484,404 | |
| | 料金収入(千円/年) | 6,449,019 | 6,279,878 | 6,278,199 | 6,031,559 | 6,051,062 | 5,987,715 | |

(注) 料金収入は消費税抜

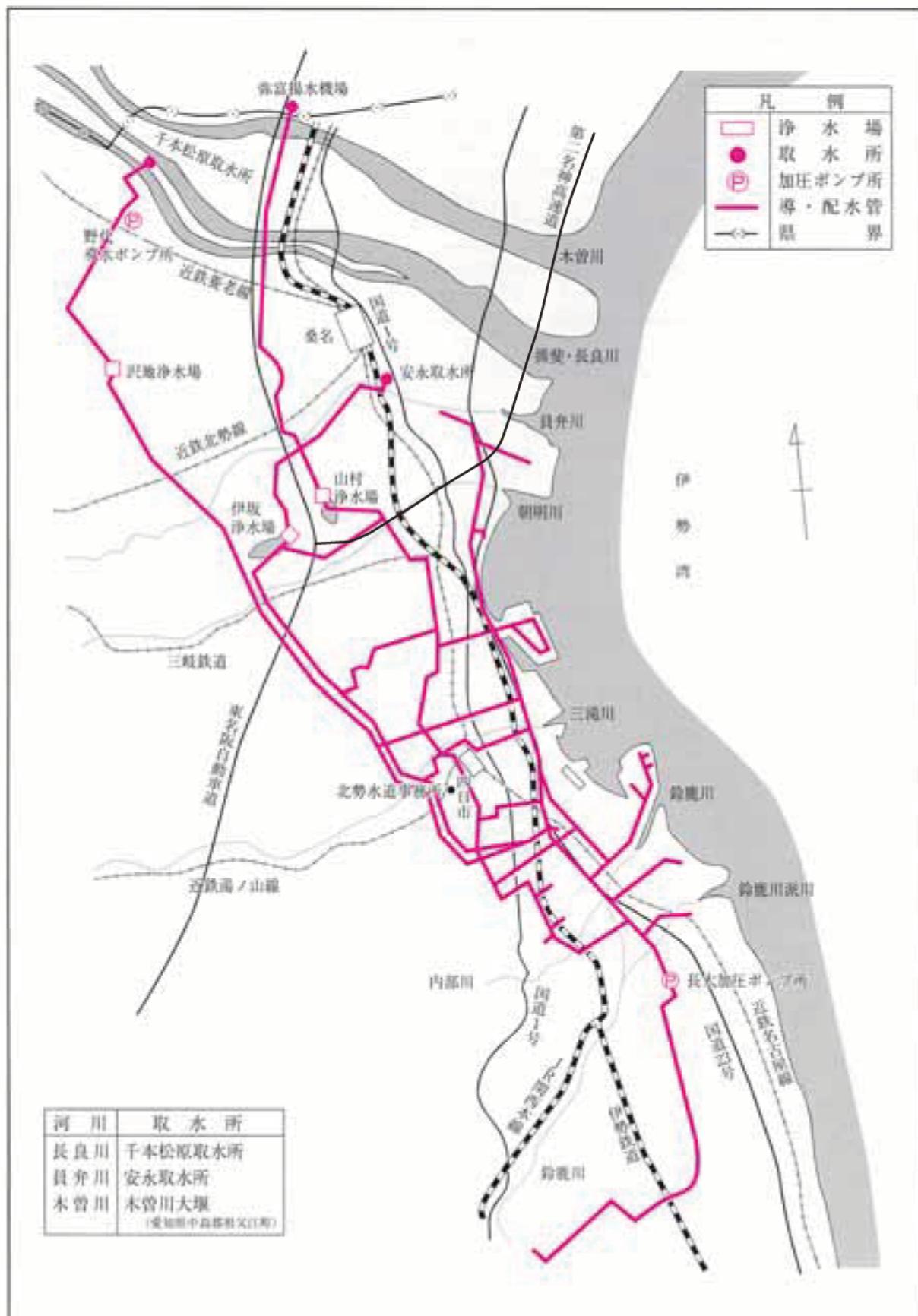
② 工業用水道料金の推移

| 事業別 | | 年 度 | 昭和53～55年度 | 昭和56～58年度 | 昭和59～60年度 | 昭和61年度 | 昭和62～平成元年度 |
|----------|------|--------|-----------|-----------|-----------|--------|------------|
| 北伊勢工業用水道 | 基本料金 | 四・1～3期 | 10.5 | 14.1 | 17.0 | 17.0 | 17.6 |
| | | 3期代替 | 9.5 | 13.1 | 16.0 | 16.0 | 16.6 |
| | | 4期 | 16.0 | 19.8 | 22.0 | 22.0 | 20.6 |
| | 超過料金 | 四・1～3期 | 21.0 | 28.2 | 34.0 | 34.0 | 35.2 |
| | | 4期 | 32.0 | 39.6 | 44.0 | 44.0 | 41.2 |
| | 基本料金 | — | — | — | 45.0 | 45.0 | |
| 多度工業用水道 | 超過料金 | — | — | — | 90.0 | 90.0 | |
| | 基本料金 | 13.5 | 17.7 | 21.2 | 21.2 | 22.3 | |
| 中伊勢工業用水道 | 超過料金 | 27.0 | 35.4 | 42.4 | 42.4 | 44.6 | |
| | 基本料金 | 9.0 | 11.3 | 12.5 | 12.5 | 13.3 | |
| 松阪工業用水道 | 超過料金 | 18.0 | 22.6 | 25.0 | 25.0 | 26.6 | |

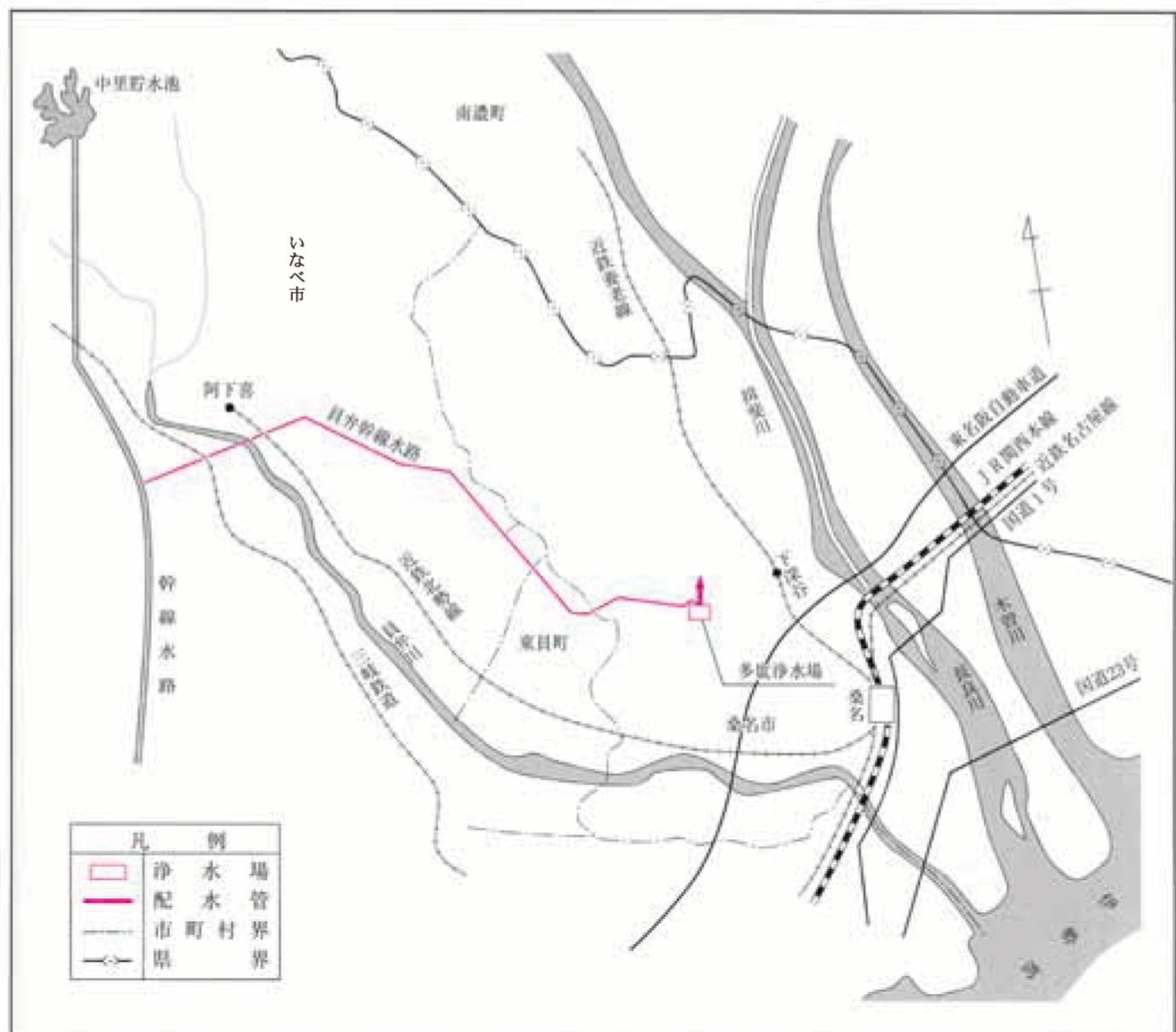
| 事業別 | | 年 度 | 平成2～4年度 | 平成5～11年度 | 平成12年度～ |
|----------|------|------|---------|----------|---------|
| 北伊勢工業用水道 | 基本料金 | 16.5 | 17.0 | 17.0 | |
| | 使用料金 | 3.4 | 3.5 | 3.5 | |
| | 超過料金 | 39.8 | 41.0 | 41.0 | |
| 多度工業用水道 | 基本料金 | 45.0 | 45.0 | 45.0 | |
| | 超過料金 | 90.0 | 90.0 | 90.0 | |
| 中伊勢工業用水道 | 基本料金 | 20.7 | 21.3 | 21.3 | |
| | 使用料金 | 1.8 | 1.9 | 1.9 | |
| | 超過料金 | 45.0 | 46.4 | 46.4 | |
| 松阪工業用水道 | 基本料金 | 12.5 | 12.9 | 14.9 | |
| | 使用料金 | 1.5 | 1.6 | 1.1 | |
| | 超過料金 | 28.0 | 29.0 | 32.0 | |

(注) 平成2年度より料金体系の変更を行った。

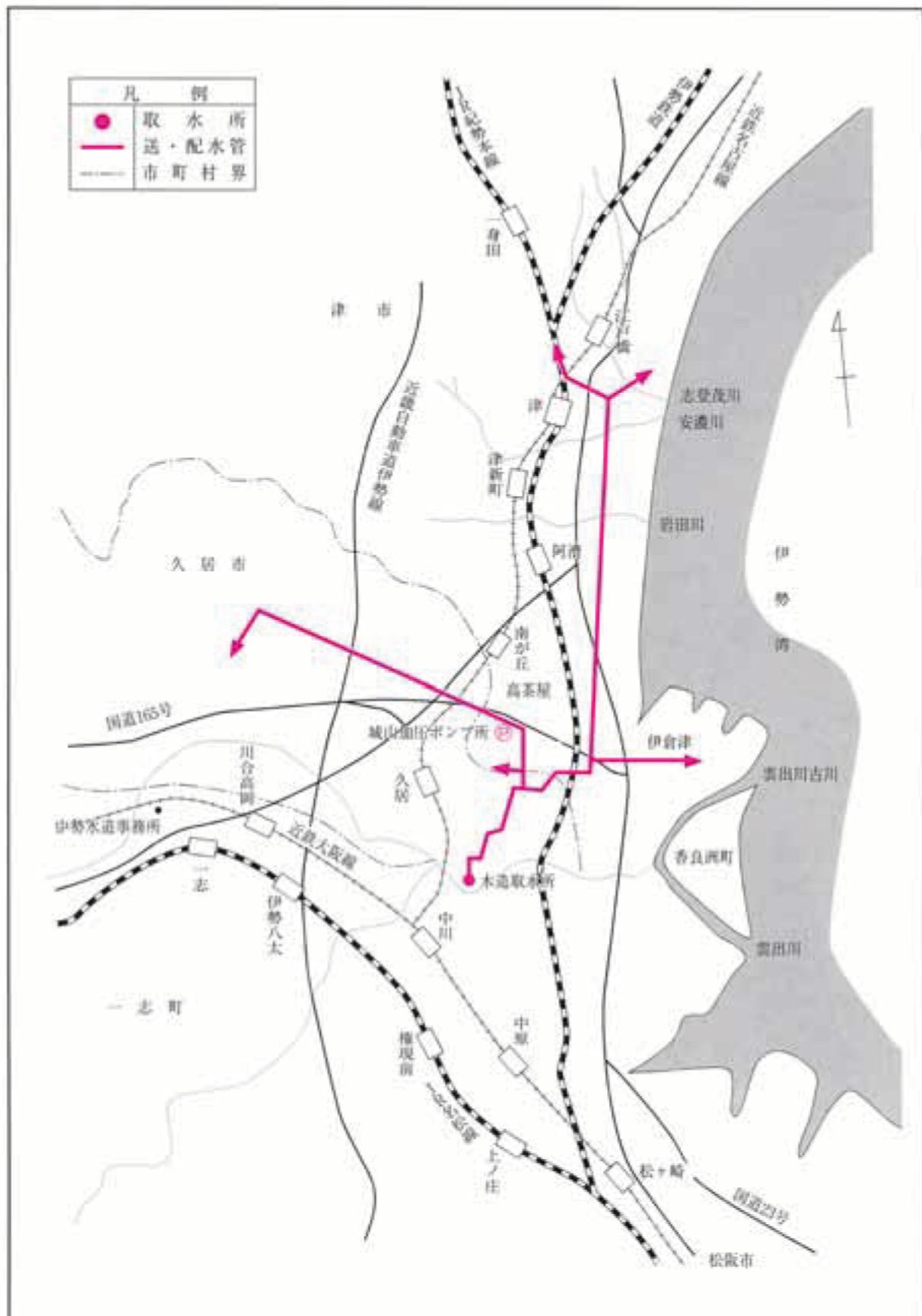
北伊勢工業用水道事業概要図



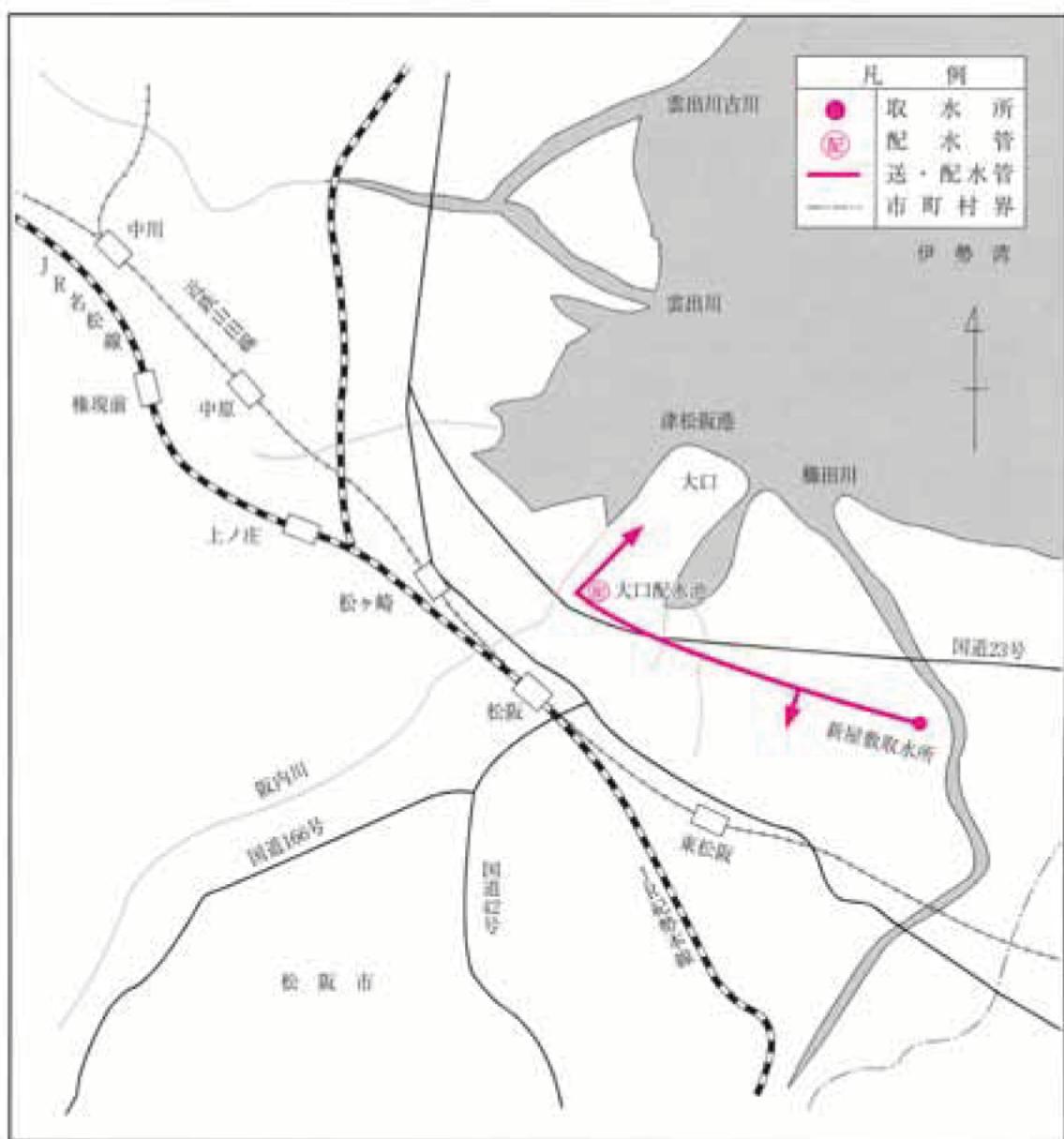
多度工業用水道事業概要図



中伊勢工業用水道事業概要図



松阪工業用水道事業概要図



5 電気事業の概要

(1) 事業概要

三重県の電気事業は、昭和27年に電気事業許可を受け、宮川総合開発事業の一環として始まり、オイルショック後の石油代替エネルギーの確保及び地球温暖化防止に寄与するためなど、その時代時代において公営電気事業に求められた使命により、発電所を建設してきました。

現在、三重県電気事業には10ヵ所の水力発電所と1ヵ所の廃棄物発電所があり、合計最大出力109,850kW、年間約3億8,800万kWhの電力量を発電しています。この電力は、電力会社を通じて県内に供給することとしています。

これは、県内の一般家庭約11万戸が1年間に使用する電力量にあたるとともに、一般的な火力発電と比較して1年間に炭酸ガスの発生量を約20万t-CO₂削減することができるため、地域エネルギーの安定化を図りつつ、再生可能エネルギーを供給することで、地球温暖化防止に貢献しています。

(2) 水力発電事業

① 事業内容

三重県電気事業は、三重県内における電力の確保及び電力の安定供給を行うために、昭和27年に長発電所を建設して以降、宮川第一、宮川第二、宮川第三、三瀬谷、青蓮寺発電所と建設をしてきました。

その後、昭和48年のオイルショックを受け石油代替エネルギーの確保のため、大和谷、蓮、青田、比奈知発電所を建設し、現在では10発電所となり、合計最大出力は97,800kWとなっています。

また、企業庁では、低廉な電力を効率的・安定的に供給するため、昭和42年の長発電所をはじめとして、宮川第一発電所、宮川第三発電所の各有人発電所を順次無人化するとともに、昭和46年に建設した青蓮寺発電所以降の発電所は、無人発電所として建設してきました。

さらに、平成7年度の電気事業法の改正や電力の自由化を受け、さらなる経営の効率化のため平成14年4月には、全ての発電所の運転監視制御を三瀬谷発電管理事務所に一元化しました。

新たな電源開発としては、水資源機構が建設している川上ダムの維持流量を有効に活用するため川上発電所を計画中です。

② 卸供給料金

水力発電の卸供給料金は、電気事業法に基づく卸供給料金算定規則により算出しています。

これは、原価を算定する期間（現在は2年間）内に、卸供給を行うために必要な費用（営業費）に適正な利潤（事業報酬）を加えた額として算出しています。

現行料金は、平成17・18年度分として、8.06円/kWhで電力会社と契約するとともに、経済産業省に届出を行っています。

| 卸供給料金 | | | | | | |
|-------|-----|-------|-------|---------|-------|------|
| 営業費 | | | | | | 事業報酬 |
| 人件費 | 修繕費 | 水利使用料 | 減価償却費 | 市町村等交付金 | その他費用 | |
| | | | | | | |

卸供給料金算定規則による料金の構成

③ 公営電気事業

公営電気事業は、地方公共団体が経営する電気事業で、現在30都道府県1市の31事業体があります。主に水力発電により発電した電気を、電力会社等に卸供給（売電）することにより事業経営を行っています。

法的な位置付けとしては、地方公営企業法と電気事業法に基づき事業経営を行っています。

電気事業法上では、平成7年度の法改正により出力規模が小さいことから「電気事業者」ではなく「卸供給事業者」として、位置付けられています。ただし、法改正の経過措置として、電力会社と基本契約を締結したことにより、平成22年3月までは「みなし卸電気事業者」として位置付けられております。

三重県電気事業は、出力規模的には全国31公営電気事業者の中で、10番目の規模となっています。

三重県企業庁水力発電設備一覧表

(運転中)

(平成17年4月1日)

| 発電所名 | 使用河川名 | 発電所位置 | 発電形式 | 最大使用水量 | 最大出力 | 年間目標供給電力量 | 工期 | 事業費 | 制御所 |
|-------|-------|-------------|----------------------|-----------|----------------|---------------|---------------------|----------------|-----------------|
| 宮川水系 | 長 | 大内山川 | 多気郡大台町 大字長ヶ字鈴又 | 水路式 | (m³/秒) 6.00 | (kW) 2,400 | (kWh) 12,750,000 | 昭和 27~28年度 | (千円) 430,000 |
| | 宮川第一 | 宮川 | 北牟婁郡紀伊長島町 大字島原字南又 | ダム 水路式 | 24.00 | 25,600 | 79,607,000 | 昭和 28~31年度 | 4,980,917 |
| | 宮川第二 | 宮川 南又谷川 | 北牟婁郡紀伊長島町 大字三浦字太地 | 水路式 | 24.00 | 28,600 | 101,997,000 | 昭和 29~32年度 | 1,960,000 |
| | 宮川第三 | 宮川 不動谷川他 | 多気郡宮川村 大字大杉字能谷 | ダム 水路式 | 3.00 | 12,000 | 51,176,000 | 昭和 33~36年度 | 1,604,826 |
| | 三瀬谷 | 宮川 | 多気郡大台町 大字菅合字宮前 | ダム式 | 40.00 | 11,400 | 21,013,000 | 昭和 38~41年度 | 1,344,802 |
| | 大和谷 | 大和谷川他 | 多気郡宮川村 大字久豆字三滝谷 | 水路式 | 3.00 | 6,400 | 14,692,000 | 昭和 56~60年度 | 5,575,323 |
| | 小計 | | | | | 86,400 | 281,235,000 | | 15,895,868 |
| 淀川水系 | 青蓮寺 | 青蓮寺川 | 名張市中知山 字下ノ田 | ダム式 | 4.00 | 2,000 | 7,139,000 | 昭和 42~45年度 | 261,988 |
| | 比奈知 | 名張川 | 名張市上比奈知 字熊走 | ダム式 | 3.70 | 1,800 | 6,030,000 | 平成 7~10年度 | 1,933,000 |
| | 小計 | | | | | 3,800 | 13,169,000 | | 2,194,988 |
| 櫛田川水系 | 蓮 | 蓮川 | 松阪市飯高町 大字森字平瀬 | ダム式 | 9.00 | 4,800 | 12,473,000 | 昭和57~ 平成3年度 | 3,118,264 |
| | 青田 | 青田川 菅谷川 | 松阪市飯高町 大字青田字向井 | 水路式 | 1.50 | 2,800 | 11,315,000 | 平成 4~7年度 | 3,978,262 |
| | 小計 | | | | | 7,600 | 23,788,000 | | 7,096,526 |
| 合計 | | | | | | 97,800 | 318,192,000 | | 25,187,382 |

(計画中)

| 発電所名 | 使用河川名 | 発電所位置 | 発電形式 | 最大使用水量 | 最大出力 | 年間目標供給電力量 | |
|------|-------|-------|-------|--------|----------------|---------------|---------------------|
| 淀川水系 | 川上 | 前深瀬川 | 伊賀市阿保 | ダム式 | (m³/秒) 2.50 | (kW) 1,200 | (kWh) 約5,600,000 |

(3) 営業実績等の概況

① 供給電力量等の推移

| 発電所名 | 区分 | 年度 | 平成11年度 | 平成12年度 | 平成13年度 | 平成14年度 | 平成15年度 | 平成16年度 |
|-------|------------|-----------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| | | | | | | | | |
| 宮川水系 | 長 | 目標供給電力量 (kWh/年) | 13,730,000 | 13,730,000 | 13,684,000 | 13,684,000 | 12,769,000 | 12,769,000 |
| | | 供給電力量 (kWh/年) | 12,583,000 | 12,891,440 | 11,604,938 | 12,166,840 | 12,872,190 | 7,691,363 |
| | 宮川第一 | 目標供給電力量 (kWh/年) | 87,590,000 | 87,590,000 | 87,434,000 | 87,434,000 | 80,081,000 | 80,081,000 |
| | | 供給電力量 (kWh/年) | 76,807,345 | 65,471,310 | 76,931,320 | 86,188,120 | 81,879,070 | 53,749,250 |
| | 宮川第二 | 目標供給電力量 (kWh/年) | 108,377,000 | 108,377,000 | 108,264,000 | 108,264,000 | 102,092,000 | 102,092,000 |
| | | 供給電力量 (kWh/年) | 98,217,672 | 85,394,540 | 97,975,085 | 111,321,578 | 109,125,460 | 67,635,380 |
| | 宮川第三 | 目標供給電力量 (kWh/年) | 52,955,000 | 52,955,000 | 52,974,000 | 52,974,000 | 50,884,000 | 50,884,000 |
| | | 供給電力量 (kWh/年) | 49,573,096 | 53,008,783 | 48,558,526 | 53,246,952 | 53,892,225 | 43,565,813 |
| 淀川水系 | 三瀬谷 | 目標供給電力量 (kWh/年) | 24,436,000 | 24,436,000 | 24,478,000 | 24,478,000 | 21,035,000 | 21,035,000 |
| | | 供給電力量 (kWh/年) | 24,209,415 | 9,616,960 | 20,002,605 | 21,754,600 | 20,255,040 | 14,354,393 |
| | 大和谷 | 目標供給電力量 (kWh/年) | 18,268,000 | 18,268,000 | 18,066,000 | 18,066,000 | 15,192,000 | 15,192,000 |
| | | 供給電力量 (kWh/年) | 14,493,820 | 12,103,756 | 12,382,290 | 14,000,537 | 14,192,810 | 8,869,132 |
| | 小計 | 目標供給電力量 (kWh/年) | 305,356,000 | 305,356,000 | 304,900,000 | 304,900,000 | 282,053,000 | 282,053,000 |
| | | 供給電力量 (kWh/年) | 275,884,348 | 238,486,789 | 267,454,764 | 298,678,627 | 292,216,795 | 195,865,331 |
| 櫛田川水系 | 青蓮寺 | 目標供給電力量 (kWh/年) | 7,987,000 | 7,987,000 | 7,966,000 | 7,966,000 | 7,233,000 | 7,233,000 |
| | | 供給電力量 (kWh/年) | 7,064,480 | 6,774,163 | 6,564,650 | 7,528,244 | 8,672,980 | 7,997,317 |
| | 比奈知 | 目標供給電力量 (kWh/年) | 8,182,000 | 8,182,000 | 7,876,000 | 7,876,000 | 5,675,000 | 5,675,000 |
| | | 供給電力量 (kWh/年) | 5,904,090 | 5,535,990 | 6,287,449 | 6,287,970 | 7,266,326 | 6,842,070 |
| | 小計 | 目標供給電力量 (kWh/年) | 16,169,000 | 16,169,000 | 15,842,000 | 15,842,000 | 12,908,000 | 12,908,000 |
| | | 供給電力量 (kWh/年) | 12,968,570 | 12,310,153 | 12,852,099 | 13,816,214 | 15,939,306 | 14,839,387 |
| 合計 | 蓮 | 目標供給電力量 (kWh/年) | 15,409,000 | 15,409,000 | 15,327,000 | 15,327,000 | 12,602,000 | 12,602,000 |
| | | 供給電力量 (kWh/年) | 12,384,910 | 9,728,290 | 12,237,987 | 13,609,840 | 14,163,490 | 12,610,992 |
| | 青田 | 目標供給電力量 (kWh/年) | 12,286,000 | 12,286,000 | 11,990,000 | 11,990,000 | 11,610,000 | 11,610,000 |
| | | 供給電力量 (kWh/年) | 8,438,250 | 7,901,527 | 8,138,910 | 9,041,660 | 8,914,768 | 2,634,355 |
| | 小計 | 目標供給電力量 (kWh/年) | 27,695,000 | 27,695,000 | 27,317,000 | 27,317,000 | 24,212,000 | 24,212,000 |
| | | 供給電力量 (kWh/年) | 20,823,160 | 17,629,817 | 20,376,897 | 22,651,500 | 23,078,258 | 15,245,347 |
| | 電力料収入 (千円) | | 3,233,535 | 3,197,699 | 3,050,480 | 3,090,888 | 2,810,467 | 2,502,854 |

(注) 電力料収入は消費税相当額抜き

② 卸供給料金の推移

| 年 度 区 分 | 昭和53～55年度 | 昭和56～57年度 | 昭和58～59年度 | 昭和60年度 |
|------------|-----------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 料 金 制 度 | 定額制 | 定額+従量 (80%+20%) | 定額+従量 (82%+18%) | 定額+従量 (85%+15%) |
| 基 本 料 金 | | 4.74 | 5.45 | 6.73 |
| 電 力 量 料 金 | | 1.20 | 1.20 | 1.20 |
| 平 均 単 価 | 4.70 | 5.94 | 6.65 | 7.93 |

| 年 度 区 分 | 昭和61年度 | 昭和62～63年度 | 平成元～2年度 | | 平成3～4年度 |
|------------|--------------------|--------------------|--------------------|-------------------|--------------------|
| | | | 蓮発電所H2分 | | |
| 料 金 制 度 | 定額+従量 (85%+15%) | 定額+従量 (86%+14%) | 定額+従量 (86%+14%) | 定額+従量 (93%+7%) | 定額+従量 (87%+13%) |
| 基 本 料 金 | 6.86 | 7.15 | 7.50 | 15.85 | 8.30 |
| 電 力 量 料 金 | 1.20 | 1.20 | 1.20 | 1.20 | 1.20 |
| 平 均 単 価 | 8.06 | 8.35 | 8.70 | 17.05 | 9.50 |

| 年 度 区 分 | 平成5～6年度 | 平成7～8年度 | | 平成9～10年度 | | 平成11～12年度 | |
|------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| | | 青田発電所 | 比奈知発電所 | 青田発電所 | 比奈知発電所 | 比奈知発電所 | 比奈知発電所 |
| 料 金 制 度 | 定額+従量 (88%+12%) | 定額+従量 (88%+12%) | 定額+従量 (90%+10%) | 定額+従量 (88%+12%) | 定額+従量 (89%+11%) | 定額+従量 (87%+13%) | 定額+従量 (89%+11%) |
| 基 本 料 金 | 8.59 | 8.79 | 10.23[11.71] | 8.88 | 9.69 | 8.16 | 9.74 |
| 電 力 量 料 金 | 1.20 | 1.20 | 1.20 | 1.20 | 1.20 | 1.20 | 1.20 |
| 平 均 単 価 | 9.79 | 9.99 | 11.43[12.91] | 10.08 | 10.89 | 9.36 | 10.94 |

| 年 度 区 分 | 平成13～14年度 | 平成15～16年度 | 平成17～18年度 |
|------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 料 金 制 度 | 定額+従量 (87%+13%) | 定額+従量 (86%+14%) | 定額+従量 (85%+15%) |
| 基 本 料 金 | 7.72 | 7.56 | 6.86 |
| 電 力 量 料 金 | 1.20 | 1.20 | 1.20 |
| 平 均 単 価 | 8.92 | 8.76 | 8.06 |

(注) 青田発電所の[]内は、平成7年度分

定額制：供給電力量の多少にかかわらず一定額の料金とする制度

従量制：供給電力量当たりの単価に応じた料金とする制度

定額+従量：定額制（基本料金）と従量制（電力量料金）を組合せたもの

料金は、消費税相当額は入っていません

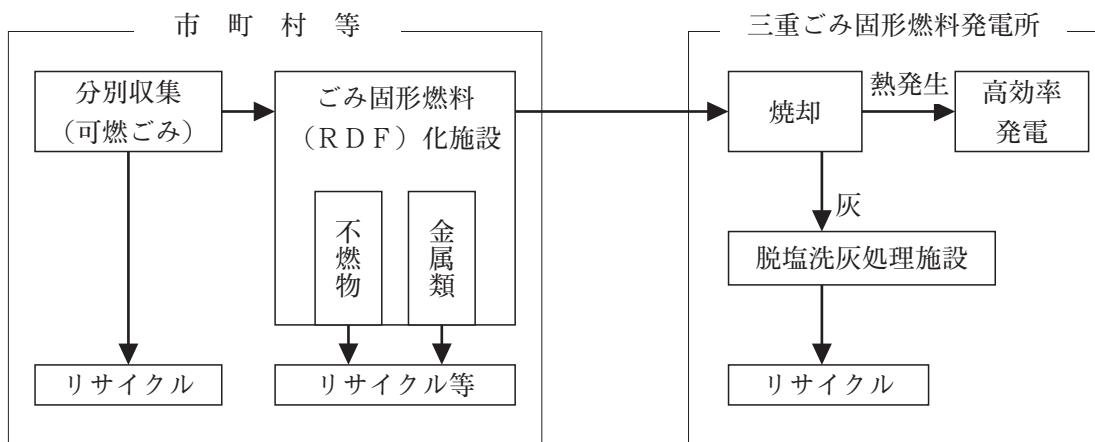
(4) RDF焼却・発電事業

① 事業概要

三重県では、資源循環型社会の構築を図るとともに、未利用エネルギーの有効活用を促進するためのモデル事業として、RDF焼却・発電事業を平成14年12月から企業庁で行っています。

これは、市町村で単に焼却処理されていた「ごみ」を「RDF化」することで、有効な熱エネルギーとして活用（サーマルリサイクル）することを目指したものであります。

現在、桑名広域清掃事業組合、香肌奥伊勢資源化広域連合、南牟婁清掃施設組合、志摩市、伊賀市、紀伊長島町及び海山町の7団体（17市町村）が、RDF化施設を整備しRDFを製造しています。



(RDF焼却・発電施設)

| 施設名 | 設置場所 | RDF処理能力 (t/日) | 最大出力 (kW) | 発電電力量 (kWh) |
|-------------|----------|------------------|--------------|----------------|
| 三重ごみ固体燃料発電所 | 桑名市多度町力尾 | 240 | 12,050 | 約7,000万 |

RDF化17市町村：桑名広域清掃事業組合（桑名市、いなべ市、木曽岬町、東員町）

香肌奥伊勢資源化広域連合（松阪市、大台町、勢和村、宮川村、大紀町）

南牟婁清掃施設組合（御浜町、紀宝町、紀和町、鵜殿村）

志摩市、伊賀市、紀伊長島町、海山町

RDF : Refuse Derived Fuel (ごみからつくられた燃料)

② RDF受入量等の推移

| 項目 | 供給先 | 年度 | 平成14年度 | 平成15年度 | 平成16年度 |
|------------------|------------|----|-----------|------------|------------|
| RDF受入量 | (RDFトン) | | 16,798 | 21,158 | 29,185 |
| 供給電力量 (kWh/年) | 中部電力(株) | | 7,596,960 | 21,621,460 | 21,416,080 |
| | 桑名広域清掃事業組合 | | 1,984,000 | 5,884,800 | 5,744,600 |
| | 合計 | | 9,580,960 | 27,506,260 | 27,160,680 |
| 電力料収入 | (千円) | | 95,695 | 247,502 | 240,028 |

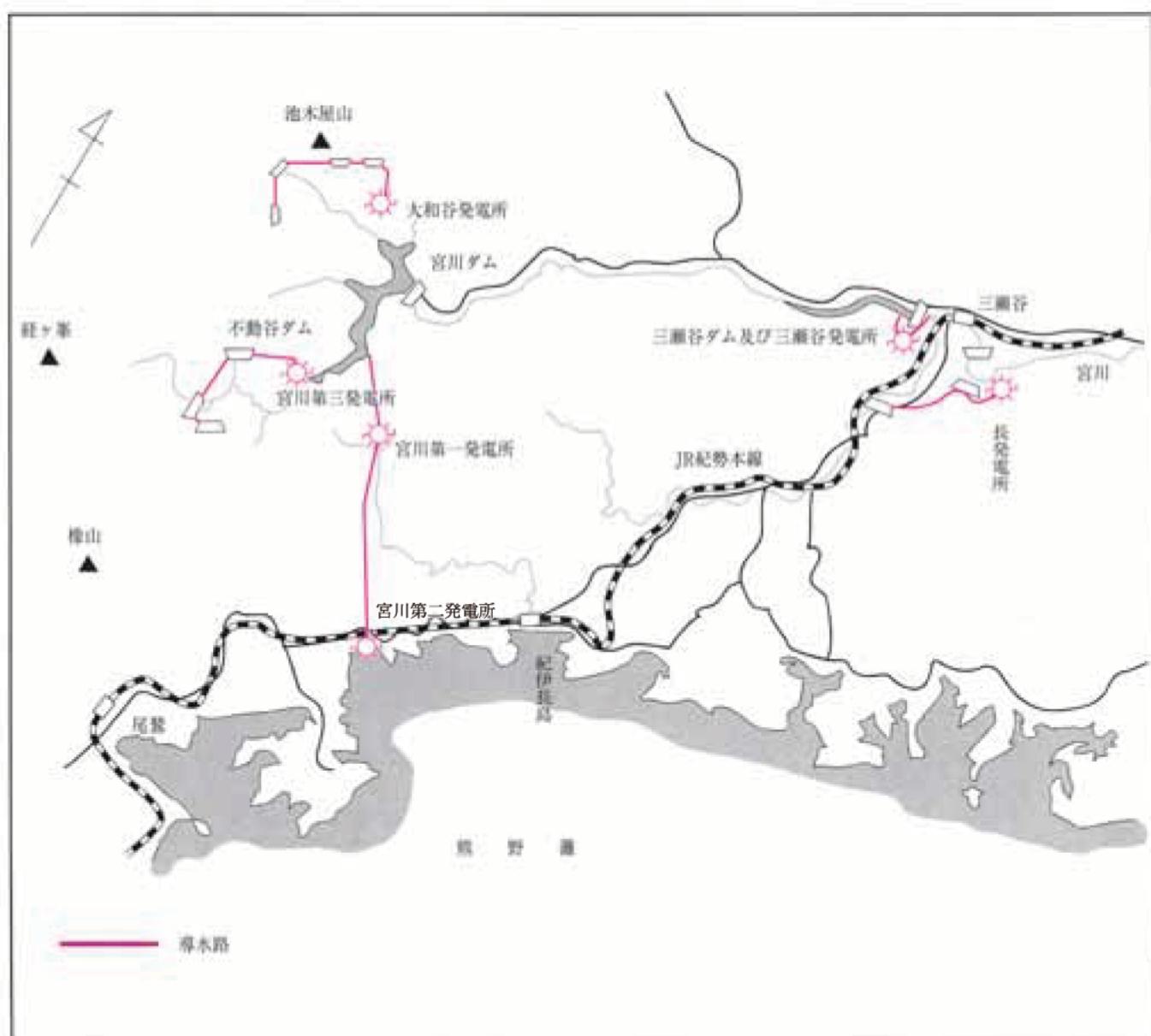
(注) 電力料収入は消費税相当額抜き

平成14年12月1日からRDFの受入を開始しました。

平成15年度については、8月19日の事故のため、それ以降RDFの受入を停止していましたが、試運転等を行うため、3月15日から受入を開始しました。

平成16年度は、試運転等が終了するため、8月5日以降RDFの受入を停止しましたが、RDF焼却・発電事業を再開するため、9月20日からRDFの受入を開始しました。

宮川水系各発電所位置図



淀川水系各発電所位置図



墨水齋

櫛田川水系各発電所位置図



三重ごみ固体燃料発電所位置図



6 企業庁の歩み

| 年月 | 電気事業関係 | 工業用水道事業関係 | 水道事業関係 | 組織、その他事業の関係 | 参考事項 |
|---------------------|--|---|--------|---|---------------------------------|
| 昭和26年4月 | ・宮川総合開発事業実施のための調査を開始 | | | | 5月 9電力会社発足 |
| 昭和27年4月 7月 | ・宮川総合開発事業に着手 ・宮川ダム建設に着手 ・宮川総合開発建設部を設置 ・長発電所の建設に着手 | | | | 7月 電源開発促進法公布 8月 地方公営企業法公布 |
| 昭和28年6月 | ・宮川第一発電所の建設に着手 | | | | |
| 昭和29年1月 4月 6月 | ・長発電所の営業運転開始 ・電気事業に地方公営企業法の財務規定を適用 ・宮川第二発電所の建設に着手 | | | | |
| 昭和30年3月 | ・宮川ダム定礎式 | | | | |
| 昭和31年4月 7月 | ・土木部に企業準備室を設置 ・電気局設置 ・電気事業に地方公営企業法を適用 | | | | 6月 工業用水法公布 |
| 昭和32年4月 5月 | ・宮川第一発電所の営業運転を開始 ・宮川ダム竣工 | | | | 6月 水道法公布 |
| 昭和33年1月 7月 | ・宮川第二発電所営業運転を開始 ・宮川第三発電所の建設に着手 | | | | 4月 工業用水道事業法公布 10月 日本工業用水協会設立 |
| 昭和36年4月 12月 | | ・工業用水道事業に地方公営企業法を適用 ・四日市工業用水道、北伊勢工業用水道第一期事業、及び建設中の第二期事業を土木部から引き継ぐ ・松阪工業水道事業の建設に着手 | | ・電気局を企業庁に改組 (組織…本庁6課、出先6機関) | 11月 水源開発促進法公布 11月 水源開発公団法公布 |
| 昭和37年3月 5月 | ・宮川第三発電所の営業運転を開始 | | | | |
| 昭和38年4月 10月 | | ・北伊勢工業用水道第二期事業の一部給水を開始 ・北伊勢工業用水道第三期事業の建設に着手 ・松阪工業用水道事業の給水を開始 | | | 5月 工業用水法の一部改正 5月 水資源開発公団が発足 |
| 昭和39年3月 | ・三瀬谷ダム及び三瀬谷発電所の建設に着手 | | | | 7月 電気事業法公布 |
| 昭和40年1月 3月 | | ・伊坂ダム定礎式 | | ・水道事業に地方公営企業法を適用 | |
| 昭和40年4月 | | | | ・志摩水道用水供給事業の建設に着手 | |
| 昭和41年11月 12月 | | | | | |
| 昭和42年1月 4月 5月 | ・長発電所を無人化 ・三瀬谷ダム竣工、三瀬谷発電所の営業運転を開始 | ・松阪工業用水道第一期拡張事業の建設に着手 | | ・有料道路事業に地方公営企業法を適用 ・長島有料道路事業を土木部から引き継ぎ、建設に着手 ・営業中の北伊勢有料道路事業を土木部から引き継ぐ | |

| 年月 | 電気事業関係 | 工業用水道事業関係 | 水道事業関係 | 組織、その他事業の関係 | 参考事項 |
|---|------------------------------------|---|---|---------------|---|
| 昭和43年3月 4月 | ・青蓮寺発電所の建設に着手 ・電気料金（長、宮一、宮二）を改定 | | ・雲出川総合開発君ヶ野ダム建設事業を土木部から受託 ・中勢水道用水供給事業の建設に着手 | | |
| 8月 10月 | | ・北伊勢工業用水道第三期事業の一部給水を開始 | | ・長島有料道路の営業を開始 | |
| 11月 | | | ・志摩水道用水供給事業の一部（大王町、磯部町、浜島町、阿児町）給水を開始 | | |
| 昭和44年3月 4月 6月 9月 | ・宮川第一発電所を無人化 | ・北伊勢工業水道第三期事業の給水を開始 ・中伊勢工業用水道事業の建設に着手 | ・志摩水道用水供給事業の一部（志摩町）給水を開始 | | ・鈴鹿公園有料道路の建設に着手 |
| 昭和45年4月 6月 10月 11月 12月 | ・青蓮寺発電所の営業運転開始 | ・北伊勢工業用水道第四期事業の建設に着手 ・松阪工業用水道第二期拡張工事の建設に着手 ・上野工業用水道事業の建設に着手 | ・本庁に水道課を設置 | | ・志摩開発有料道路（第一期事業）の建設に着手 |
| 昭和46年4月 5月 6月 8月 12月 | ・電気料金（宮三）を改定 | ・中伊勢工業用水道事業の一部（津市）給水を開始 | ・志摩水道用水供給事業の給水を開始 ・中勢水道用水供給事業の一部（津市、久居市）給水を開始 ・北勢水道用水供給事業の建設に着手 | | ・土地開発事業に地方公営企業法を適用 ・青山高原保健休養地の建設に着手 |
| 昭和47年1月 3月 4月 8月 11月 12月 | | ・松阪工業用水道第二期拡張事業の給水を開始 ・松阪工業用水道の料金改定 | ・雲出川総合開発事業の君ヶ野ダム竣工 ・中勢水道用水供給事業の一部（嬉野町）給水開始 | | ・青山高原有料道路事業の建設に着手 ・鈴鹿公園有料道路の営業を開始 ・白山八対野土地造成事業の建設に着手 ・志摩開発有料道路（第二期事業）の建設に着手 |
| 昭和48年4月 8月 10月 11月 | | | ・中勢水道用水供給事業の一部（一志町）給水を開始 ・志摩水道用水拡張事業の建設に着手 | | ・志摩開発有料道路（第一期事業）の営業を開始 ・北伊勢有料道路を無料開放 |
| 昭和49年6月 9月 | | ・北伊勢工業用水道の野代導水所を無人化 ・松阪工業用水道事業の新屋敷取水所を無人化 | | | 10月 オイルショック始まる ・県道路公社の設立に伴い、鈴鹿公園有料道路及び志摩開発有料道路事業（第一期事業）を移管 ・長島有料道路を無料開放 ・青山高原保健休養地の第1回分譲会を開催 |

| 年 月 | 電気事業関係 | 工業用水道事業関係 | 水道事業関係 | 組織、その他事業の関係 | 参考事項 |
|----------|--------------------------------------|---|---|---|---------------|
| 昭和50年 4月 | ・料金改定 ・全発電所を統合 | ・料金改定 | ・料金改定 ・志摩水道用水拡張事業の一部（磯部町、阿児町、大王町、浜島町）給水を開始 ・中勢水道用水拡張事業の建設に着手 ・中勢水道用水供給事業の給水を開始 | | |
| 5月 | | | | | |
| 6月 | | | | | |
| 10月 | | ・北伊勢工業用水道事業の安永取水所、川越取水所を無人化 | | ・青山高原有料道路を竣工、事業を三重県道路公社へ移管 | |
| 昭和51年 3月 | ・宮川揚水発電の調査結果まとまる | | | | |
| 4月 | | | ・志摩水道用水拡張事業の給水を開始 | | |
| 7月 | | | | ・志摩開発有料道路（第二期事業）を竣工、事業を三重県道路公社へ移管 | |
| 12月 | | | | ・「三重県公営企業の設置等に関する条例」を一部改正、有料道路事業を削除 | |
| 昭和52年 3月 | | ・北伊勢工業用水道第4期事業の一部（四日市市、楠町）給水開始 ・上野工業用水道事業を廃止 | ・北勢水道用水供給事業の一部（長島町）給水を開始 | | |
| 4月 | | | ・北勢水道用水供給事業の一部（木曽岬町）給水を開始 ・南勢水道用水供給事業の建設に着手 ・北勢水道用水供給事業の一部（川越町、朝日町）給水を開始 ・北勢水道用水供給事業の一部（四日市市）給水を開始 | | |
| 5月 | | | | | |
| 6月 | | | | | |
| 昭和53年 1月 | | | ・中勢水道用水拡張事業の一部（白山町）給水を開始 ・北勢水道用水供給事業の一部（桑名市、鈴鹿市）給水を開始 | | |
| 4月 | ・宮川第三発電所を無人化 ・料金改定 | ・料金改定 | | | |
| 昭和54年 3月 | | | | ・白山八対野土地を日生学園へ売却 ・白山八対野土地造成事業を廃止 ・本庁の経理課を廃止し、経営企画室を設置 | |
| 4月 | | ・北伊勢工業用水道第4期事業の一部（鈴鹿市）給水を開始 | ・北勢水道用水供給事業の一部（楠町）給水を開始 | | |
| 昭和55年 4月 | | | ・中勢水道用水供給事業の一部（三雲町）給水を開始 | | |
| 昭和56年 4月 | ・料金改定（一部従量制導入） | ・料金改定 | ・料金改定 ・中勢水道用水拡張事業の給水を開始 | | |
| 11月 | ・大和谷発電所の建設計画が、電源開発調整審議会に於いて議を経て決定 | | | | |
| 昭和57年 2月 | | | | | |
| 4月 | ・土木課分室を設置（大和谷発電所の建設のため設置） | ・北伊勢工業用水道の千本松原取水所の無人化 | | ・企業庁設置20周年記念式典を挙行し、「企業庁20年史」を刊行 | |
| 7月 | ・蓮発電所の建設計画が、電源開発調整審議会に於いて議を経て決定 | | | | |
| 昭和58年 4月 | ・土木課分室を廃止し、大和谷、蓮発電所建設事務所を設置 ・料金改定 | | | | 58年3月 木曽川用水完成 |

| 年月 | 電気事業関係 | 工業用水道事業関係 | 水道事業関係 | 組織、その他事業の関係 | 参考事項 |
|---------------|----------------------------------|------------------------|---|--------------------------------|----------|
| 昭和59年4月 8月 | | ・料金改定 | | ・職員福利厚生施設「いなづま会館」開館 | |
| 12月 | | ・多度工業用水道事業に着手 | | ・「長期経営ビジョン」を策定 | |
| 昭和60年3月 4月 | ・料金改定 | | ・料金改定 ・南勢水道用水供給事業の暫定（鳥羽市、二見町）給水を開始 | ・「長期経営ビジョン」に基づく第一次推進計画を策定 | |
| 6月 | ・大和谷発電所の営業運転開始 | | | ・企画開発課を設置 | |
| 11月 | | | | ・「長期経営ビジョン」に基づく第二次推進計画を策定 | |
| 昭和61年4月 | | ・多度工業用水道事業の一部給水を開始 | | | |
| 昭和62年4月 5月 | ・料金改定 | ・料金改定 | ・南勢水道用水供給事業の一部（明和町）給水を開始 ・南勢水道用水供給事業の一部（伊勢市、松阪市、鳥羽市、飯南町、二見町、小俣町、度会町）給水を開始 | | |
| 7月 | | | | | |
| 昭和63年3月 4月 | | | ・北勢水道用水拡張事業の建設に着手 ・北勢水道事務所水沢建設所を設置 ・南勢水道用水供給事業の一部（玉城町）給水を開始 | ・青山高原保健休養地の分譲を終了 ・土地開発事業を廃止 | |
| 平成元年3月 4月 | ・料金改定 | | | | 4月 消費税施行 |
| 12月 | | | ・南勢志摩水道用水供給事業（志摩系拡張）の建設に着手 ・南勢志摩水道用水供給事業の一部（勢和村）給水を開始 | | |
| 平成2年4月 | ・蓮発電所の一部営業運転を開始 | | ・料金改定 | | |
| 平成3年3月 4月 | ・蓮発電所の営業運転を開始 ・料金改定 | ・工業用水道条例の全部改定 ・料金改定 | ・北勢水道用水供給事業（三重用水系）の一部（四日市市、菰野町）給水を開始 ・南勢志摩水道用水供給事業（南勢系）の一部（多気町）給水を開始 ・北勢水道用水供給事業の料金を、木曽川用水系と三重用水系の二本立てに設定 | | |
| 11月 12月 | ・青田発電所の建設計画が、電源開発調整審議会において議を経て決定 | | | ・「企業庁30年の歩み」を発刊 | |
| 平成4年4月 | ・青田発電所建設事務所を設置 | | ・南勢志摩水道用水供給事業（志摩系拡張）の一部給水を開始 | | |
| 平成5年4月 | ・料金改定 | ・料金改定 | ・中勢水道拡張建設室を設置 | | |
| 平成6年3月 4月 | | | ・北勢水道用水供給事業（三重用水）の一部（鈴鹿市）給水を開始 ・中勢水道拡張建設事務所を設置 | | |

| 年 月 | 電気事業関係 | 工業用水道事業関係 | 水道事業関係 | 組織、その他事業の関係 | 参考事項 |
|-------------------------|--|-----------------------|--|--|---------------------------------|
| 平成 6 年12月 | ・比奈知発電所の建設計画が、電源開発調整審議会において議を経て決定 | | | | |
| 平成 7 年 3 月 4 月 | ・比奈知発電所を追加するための「三重県公営企業の設置等に関する条例」の改定 ・料金改定 | | ・料金改定 | ・総務課と企画開発課を統合し企業管理課とその課内室である経営企画室を設置 | |
| 10月 | ・青田発電所の営業運転を開始 | ・北伊勢工業用水道沢地浄水場を無人化 | | | |
| 平成 8 年 4 月 | | ・北勢水道事務所「配水管理センター」を設置 | ・北勢水道用水供給事業（三重用水系）の給水開始 ・南勢志摩用水供給事業の給水を開始 | | |
| 平成 9 年 4 月 | ・三瀬谷発電所、施設改良に伴い最大出力を改定 ・料金改定 | ・消費税改正に伴う工業用水道料金改定 | ・消費税改正に伴う水道料金改定 | | ・平成 9 年 4 月 消費税率を 3 %から 5 %に |
| 平成10年 4 月 7 月 8 月 | | | ・北中勢水道用水供給事業（中勢系、長良川水系）の一部（津市、久居市、一志町、嬉野町、白山町、三雲町、河芸町、芸濃町、安濃町、美里村）給水を開始 ・北中勢水道用水供給事業（北勢系・長良川水系）の建設に着手 | ・「企業庁長期総合計画」を策定 | |
| 12月 | ・比奈知発電所の営業運転を開始 | | | | |
| 平成11年 1 月 4 月 | ・RDF関連施設の都市計画決定 ・料金改定 | | ・伊賀水道用水供給事業の建設に着手 ・北勢水道拡張建設事務所を設置 ・料金改定 ・伊賀水道建設事務所を設置 | ・経営企画室を企画経営グループに改変 ・工業用水道課と水道課を統合し都市用水課を設置 | |
| 平成12年 4 月 | | ・料金改定 | | | |
| 平成13年 4 月 | ・料金改定 | | ・北中勢水道用水供給事業（北勢系・長良川系）の一部（木曾岬町、長島町、朝日町、川越町、楠町）給水を開始 | | |
| 平成14年 4 月 | ・制御所を三瀬谷発電管理事務所へ統合 | | | | |
| 平成14年12月 | ・三重ごみ 固形燃料（RDF）発電所の運転を開始 | ・北伊勢工業用水道改築事業再評価 | | ・企業監理課、都市用水課、電気課を経営資産チーム、政策企画チーム、水道チーム、工業用水道チーム、電気チームに改変 | |
| 平成15年 4 月 | ・料金改定 | | | | |
| 平成15年 8 月 10月 | ・三重ごみ 固形燃料（RDF）発電所貯蔵槽爆発事故 | | ・北中勢水道用水供給事業（北勢系第 2 拡張事業）再評価 | ・水道・工業用水道事業経営チーム、電気事業経営チーム、経営品質管理チーム、整備推進チーム、整備・改革プロジェクトチームに改変 | |

| 年 月 | 電気事業関係 | 工業用水道事業関係 | 水道事業関係 | 組織、その他事業の関係 | 参考事項 |
|----------|----------------------------|--|----------------|--------------------------------------|------|
| 平成16年 1月 | | | ・伊賀水道用水供給事業再評価 | | |
| 3月 | ・三重ごみ 固形燃料（RDF）発電所の試運転等を開始 | | | | |
| 4月 | | ・北勢水道事務所管内水道2浄水場と工水4浄水場の計6浄水場を同事務所から遠方監視制御運転開始 | | ・企業総務室、経営管理室、都市用水室、電気事業室、特定事業室に改変 | |
| 9月 | ・三重ごみ 固形燃料（RDF）発電所の運転再開 | | | | |
| 平成17年 4月 | ・料金改定 | | ・料金改定 | ・企業総務室、経営管理室、水道事業室、工業用水道事業室、電気事業室に改変 | |

**平成17年度
事業概要「水の恵み」**

平成17年6月発行

三重県企業庁

〒514-8570 津市広明町13
電話 (059) 224-2822

表紙写真

企 業 総 務 室 濱 口 純 一

裏表紙写真

三瀬谷発電管理事務所 奥 山 高 样
北勢水道事務所 平 澤 志 起

編 集

企業総務室企画グループ



クリーンな水と電気をお届けする三重県企業庁